年報

医療法人 腎愛会

2020（令和２）年度

上　山　病　院

うえやま腎クリニック

高齢者福祉複合施設「光陽」

上山病院

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿3丁目17-6

TEL 099-257-2277
FAX 099-252-0722

うえやま腎クリニック

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿4丁目39-20

TEL 099-275-3211
FAX 099-275-3212

高齢者福祉複合施設「光陽」

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿3丁目22-10

TEL 099-257-5455
FAX 099-257-5445

グループ本部

〒890-0073
鹿児島県鹿児島市宇宿3丁目21-5

TEL 099-259-8811
FAX 099-259-8469

医療法人腎愛会　2020（令和 2）年度版年報の発行にあたって

日頃より医療法人腎愛会の運営にご理解・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

1981（昭和 56）年 1 月、この宇宿の地に「上山内科クリニック」を開設、おかげさまで開業 41 年目を迎えました。ここまで来られましたのも、ひとえに患者の皆様及びご家族の皆様、職員の皆様、地域の皆様のお力添えのたまものと感謝いたしております。

2020（令和 2）年度は、未知のウイルスへの対応に終始した年になりました。新型コロナウイルス感染症が世界中にまん延し、日本国内、鹿児島県でも多くの感染者が確認されました。

当法人でもそれぞれの施設で感染対策を強化し、診療等を行っていましたが、2020 年 7 月に鹿児島で初の透析患者の感染が上山病院で確認され、感染指定医療機関へ入院するまでの間に 2 回、当院で透析を行わねばなりませんでした。前例がない中、職員が知恵を出し合い、協力し治療を行うことができました。その後、1 人目とは関連の無い透析患者 2 名の感染が確認されましたが、幸いそれ以上の感染は透析患者、職員にもありませんでした。今現在もご尽力されている各機関の皆様、その節は多大なるご協力をいただき、誠にありがとうございました。

透析医療においては、2019 年 12 月末現在の透析患者数は全国で 344,640 人（4,799 人増）、鹿児島県は 5,567 人となっています。透析導入患者さんの平均年齢は 69.09 歳で前年とあまり変わりませんでした。鹿児島県の導入患者さんの原因疾患は、全国の比率とほぼ同じとなっており、糖尿病性腎症 39.1％、慢性糸球体腎炎 25.7％、腎硬化症 11.4％でした。2018 年末のデータとなりますが、人口 10 万人あたりでの新規透析導入患者さんは全国 30.2 人に対し、鹿児島は 36.2 人と依然として高い数値で推移しております。これをいかに減らすか、引き続きの重要な課題です。

年が明けた 2021（令和 3）年は、新型コロナウイルス感染症への対応がまさかの 2 年目となりました。当法人でご協力できることは、精一杯務めさせていただいているところです。

来年 2022 年 4 月は診療報酬改定となります。透析医療につきましてはこれまで同様、厳しい改定が予想され、また大変な年となりそうです。その様な中でも、職員一人ひとりがそれぞれ懸命に取り組んでくれていますので、大変心強く、日々感謝して診療にあたっております。

先の見えないコロナ禍ですが、1 日でも早く after コロナを迎えることを願ってやみません。その新たな時代が、より素晴らしい環境となるために皆様の「地域のかかりつけ医」として、「健康で、美しく、いつまでも自分らしくありたい」という真の QOL（Quality of life） 実現のため、腎愛会に集う素晴らしい　職員と共に地域の皆様のサポートに努めて参ります。

今後とも一層のご支援・ご厚誼を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2021（令和 3）年 9 月

医療法人腎愛会　理事長　上山達典

ごあいさつ

　皆様からのご指導、ご協力のお陰でこの 1 年を無事に務めることができました。心より感謝し御礼申し上げます。

　腎愛会は今年も 1 年間、皆様と協力しながら当院にかかる患者様のお役に立てるように取り組んでまいりました。昨年から世界的に流行している COVID-19 感染症は未だに先の見えない状況が続いており、社会生活が大きく変化しました。全世界が感染症の危険に晒されたことで、ロックダウンや入国制限、オリンピック延期や縮小、緊急事態宣言措置などこれまでに経験したことのない、まるで映画の中の出来事のようなことが現実に起こっています。これまで普通にできていたことが制限されることのストレスは大変なもので、診療に関してもこれまで以上に感染対策を強化して治療を行ってまいりました。日々の体調管理はもちろんですが、面会制限やオンライン面会、オンライン会議、環境整備などこれまで以上に徹底して取り組んでいます。お陰様で院内クラスターが発生することなく、当院スタッフが一人も COVID-19 に感染することなく頑張ってくださっていることは大変ありがたいことだと考えております。現在、全国的にワクチン接種がすすみ、ようやく少しずつ社会生活も元に戻りつつあるようですが、感染対策に関しては今後も油断することなく継続して取り組んでいけるようにしたいと思います。

　どんな時でも、何があっても透析の治療を継続し、透析患者さんはもちろん地域の皆様の健康をしっかり守ることが我々の誇りとなるように頑張ります。

　これからもこれまでと同様、皆で知恵を絞り、時代と共に変化、成長していける腎愛会を目指し、職員一同、地域の皆様のお役に立てるよう腎愛会の目標に向かって引き続き取り組んでいきたいと思います。

　今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

『日本で最高の病院にしていこう！』
①来られる患者さん、そのご家族が「素晴らしい治療をしてもらえて、本当によかった」と心から言っていただける病院
②スタッフが「私は素晴らしい病院で働いている」と実感できる病院
③他の病院や医師から「あの病院は最高の医療を提供している」と認めてもらえる病院

上山病院　院長　寺口記代

目　次

ごあいさつ

1　理念・基本方針 …… 01

2　患者様の権利について …… 02

3　概要 …… 03

4　沿革 …… 06

5　各部門の紹介・実績報告 …… 07

6　研究実績 …… 36

7　院内研修開催実績 …… 37

8　1年間の主な出来事 …… 39

9　医療機器 …… 40

10　組織図 …… 41

11　委員会活動 …… 42

12　統計

(1) 患者データ【上山病院】 …… 43

(2) 患者データ【うえやま腎クリニック】 …… 50

(3) 腎愛会 2020年度アンケート集計表 …… 63

(4) 送迎データ …… 66

(5) 職員データ …… 67

1　理念・基本方針

■理念

私たちは、豊かな人間愛を持って、常に最良の医療を求めて最善を尽くします。

■基本方針

1）質の高い医療を追及するために、たゆみなく研鑽します。
2）医療人としての誇りを自覚し、公共のために行動します。
3）温かい医療を提供するとともに、地域のために貢献します。

■行動規範

四維（礼・義・廉・恥）

礼　　礼を重んじ、感謝の気持ちを持ちます。
義　　正しい道を求め、公共のために行動します。
廉　　心を清らかに保ち、素直に接します。
恥　　恥じることを知り、同じ過ちを繰り返さないよう創意します。

２　患者様の権利について

■患者の皆様の権利と責務

Ⅰ　患者の皆様には次のような権利があります。
　１　等しく安全で良質な医療を受ける権利があります。
　２　治療方針・治療効果・危険性などについて知ることができます。
　３　治療方針について、別の医師の意見を希望することができます。
　４　診療内容などの個人情報は保護されます。
　５　医療費の詳細について、説明を受けることができます。

Ⅱ　患者の皆様には次のような責務があります。
　１　最善の医療を受けるために、病状経過・過去の治療歴などについて情報提供をしていただく責任があります。
　２　病を克服するために、医療関係者と協働して治療に取り組む必要があります。
　３　円満な医療を受けるために、病院や社会生活上のルールやマナーを守る必要があります。
　４　診療上必要な医療費を負担する必要があります。

■説明と同意

　医学・医療は科学技術の発展に伴って急速に進歩し、診断・治療の中身が専門的になり、理解が難しくなっています。また、高齢者が多くなり、慢性疾患が増加し、疾病構造も大きく変わっています。
　そこで、患者さんやご家族におかれましては、十分な説明を受け、よく理解してから、自分の人生観に従って、主体的に生きていこうとお考えになろうかと拝察いたします。
　私ども医療従事者は、このような患者さんのよりよい支援者として努めてまいりますので、ご不審な点がございましたらご遠慮なくお尋ねください。
　そして、十分に理解し同意して、診療にご協力をお願いいたします。

３　概　要

【上山病院】

１）名　称：医療法人　腎愛会　上山病院

２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 17-6

３）開設者：上山達典

４）開設年月日：平成 21 年 7 月 1 日

５）管理者：寺口記代

６）診療科目：内科、腎臓内科、人工透析内科、循環器内科、血管外科

７）延床面積：3450.48 ㎡

８）病床数：40 床（療養病床 40 床）

９）施設基準等

①基本診療

療養病棟入院基本料 1、在宅復帰機能強化加算、療養病棟療養環境加算 1、
入院時食事療養（Ⅰ）／生活療養（Ⅰ）、入退院支援加算 2

②特掲診療

薬剤管理指導料、ニコチン依存症管理料、医療機器安全管理料 1、
透析液水質確保加算 2、慢性維持透析濾過加算、感染防止対策加算 2、
患者サポート体制充実加算、CT 撮影及び MRI 撮影、糖尿病合併症管理料、
運動器リハビリテーション料Ⅲ、外来リハビリテーション診療料、
下肢抹消動脈疾患指導管理加算、人工腎臓、導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算、
在宅血液透析指導管理料、腎代替療養指導管理料

③医療機関の指定

保険医療機関指定
特定疾患治療研究事業委託医療機関
障害者自立支援法指定医療機関（更生医療）
生活保護法指定医療機関
労災保険指定医療機関
労災二次健診指定医療機関
結核指定医療機関
原爆被爆者一般疾病医療機関
原爆被爆者二世健康診断委託事業医療機関
特定健診医療機関
鹿児島市 CKD 予防ネットワーク腎臓診療医療機関
肝炎治療特別促進事業指定医療機関
日本透析医学会教育関連施設認定
鹿児島県女性にやさしい医療機関
65 歳以上インフルエンザ予防接種
65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

【うえやま腎クリニック】

１）名　称：医療法人　腎愛会　うえやま腎クリニック

２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿四丁目 39-20

３）開設者：上山達典

４）開設年月日：平成 18 年 5 月 30 日

５）管理者：上山菜穂

６）診療科目：人工透析内科、形成外科

７）延床面積：1609.54 ㎡

８）施設基準等

①特掲診療

医療機器安全管理料 1、糖尿病合併症管理料、下肢抹消動脈疾患指導管理加算、人工腎臓、導入期加算 1、透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算

②医療機関の指定

保険医療機関指定

特定疾患治療研究事業委託医療機関

生活保護法指定医療機関

労災保険指定医療機関

原爆被爆者一般疾病医療機関

65 歳以上インフルエンザ予防接種

65 歳以上肺炎球菌ワクチン予防接種

【高齢者福祉複合施設 光陽】

１）名　称：医療法人　腎愛会　高齢者福祉複合施設 光陽
２）所在地：鹿児島県鹿児島市宇宿三丁目 22-10
３）開設者：上山達典
４）開設年月日：平成 29 年 1 月 17 日
５）管理者：寺口記代
６）サービス内容：サービス付き高齢者向け住宅
　　ケアプランセンター
　　ヘルパーステーション
７）延床面積：1902.44 ㎡
８）施設概要
　サービス付き高齢者向け住宅
　1 人部屋（18.85 ㎡）　　3 部屋
　1 人部屋（26 ㎡）　　23 部屋
　2 人部屋（33.15 ㎡）　　2 部屋
　2 人部屋（44.85 ㎡）　　2 部屋
　食堂・談話室

４ 沿 革

1981年 1月17日	上山内科クリニックを開設(職員数13名、許可病床数19床)
1985年 5月16日	有限会社ユーエスケイ企画設立(資本金300万円)
1985年 6月14日	職員寮(上山ハイツ)竣工
1987年 3月31日	上山内科クリニックを閉院
1987年 4月 1日	上山病院を開設(職員数45名、許可病床数48床)
1987年10月 1日	医療法人腎愛会設立(資本金8,600万円)
1990年 8月	Push/Pull-HDF(日機装社製)導入
1992年 4月 1日	じんあいクリニック開設(外来透析専門施設、無床)
1992年11月	Push/Pull-HDF(上山式)を開発し導入
1994年10月 3日	ユーエスケイ企画を有限会社から株式会社に改組(資本金1,000万円)
1995年12月25日	上山病院の増改築を実施し、2床減床(職員数73名、許可病床46床)
1997年 4月 1日	上山病院に泌尿器科を増科
1999年12月30日	療養病床施設基準に対応するために上山病院を改築
2003年 7月31日	ユーエスケイ企画本社ビル竣工
2003年 9月 1日	上山病院の病床を「その他一般病床」から「療養病床」へ転換
2004年10月19日	ユーエスケイ企画本社ビル(現本部ビル)、第8回鹿児島市建築文化賞受賞
2005年 9月30日	職員寮(上山ハイツ)売却
2006年 5月30日	うえやま腎クリニック開設(外来透析専門施設、無床)
2006年 7月 1日	ユーエスケイ企画宇宿事業所(現ユーエスケイ企画本社)開設
2008年 3月31日	じんあいクリニック閉院
2009年 7月 1日	新上山病院へ移転(職員数124名、許可病床数40床)
2009年10月 1日	上山病院　循環器内科を増科
2011年 1月17日	開院記念30周年
2012年 1月 6日	病院機能評価(Ver.6.0)認定 ((財)日本医療機能評価機構)
2012年 2月 7日	次世代育成支援対策推進法基準適合一般事業主認定(厚生労働大臣)
2013年 3月15日	上山病院　日本透析医学会教育関連施設認定
2013年11月 7日	上山病院　女性にやさしい医療機関指定
2014年10月 1日	オーダリングシステム導入
2015年 4月 4日	福利厚生施設 霧島山荘竣工(改築)
2015年12月25日	上山病院　血管外科を増科
2016年11月 1日	ケアプランセンター 光陽 開設
2016年12月26日	高齢者福祉複合施設 光陽 竣工
2017年 1月11日	デイサービス 光陽 開設
2017年 1月17日	サービス付き高齢者向け住宅 光陽 入居開始
2017年 1月22日	訪問看護ステーション 光陽 開設
2017年 6月13日	うえやま腎クリニックにビューティーコアサポート外来を開設
2018年 6月 1日	上山病院　在宅透析センター　設置
2018年 6月 1日	うえやま腎クリニック　形成外科を増科
2018年 6月 1日	上山病院　訪問リハビリテーション　開始
2019年12月 1日	電子カルテ導入
2020年 8月 3日	ビューティーコアサポート外来をビューティー・コア・サポートに名称変更
2020年12月31日	デイサービス 光陽 休止
2020年12月31日	訪問看護ステーション 光陽 休止
2021年 1月 1日	高齢者福祉複合施設　光陽 ヘルパーステーション 開設

５　各部門の紹介・実績報告

(1) 診療部

部門紹介

病院診療部は、常勤医師 6 名と非常勤医師 5 名の体制で診療にあたっております(2021 年 4 月現在)。うち 1 名は心臓血管外科が専門です。当院では外来透析、外来診療（一般外来・生活習慣病外来・禁煙外来など）、入院診療（入院透析含む）を行っております。2021 年 3 月には、腎疾患や透析診療の経験が豊富な常勤医師 1 名が加わり、より専門的な腎臓を起因とする疾病の治療が可能となっております。また、当院で取り組んでいるプライマリーケアを実践できる医療環境となり、地域の皆様からかかりつけとして選ばれる機会も増えております。また、腎移植医療は、鹿児島大学病院と連携し、サポート体制の確立を進めております。

一般外来（患者延べ数　月平均 578 名）は慢性腎疾患、高血圧、糖尿病、脂質異常症などを中心に、総合内科的機能を持ち、地域の皆様に広く受診して頂ける病院を目指しております。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

当院では、内科的管理と血管外科の医師による外科的管理が可能であり、透析シャント設置術や、バルーンカテーテルを用いた経皮的血管形成術（PTA）が行えることで、バスキュラーアクセス管理を自施設で完結できる環境が整っております。腹膜透析のカテーテル留置術と併せて、院内の手術件数も増加しており、2020 年度透析シャント設置術は 36 件、PTA については 252 件実施と件数を重ねております。また、患者様の QOL 向上を後押しできるよう、2018 年 6 月に新設した在宅透析センターを中心に、血液透析、腹膜透析、在宅血液透析と、療法選択の幅を広げ、患者様の望む治療ができるような体制を整えております。

2009 年より取り組んでいる禁煙外来につきましては、これまでに 52 名の方が成功されました。今後も継続して取り組み、これまで以上に成功者を増やしていけるよう努力したいと思います。

患者様のより良い療養生活を維持するために、各種超音波診断装置やＣＡＶＩ（動脈硬化指標の検査）など、非侵襲的な検査を積極的に行い、脳血管障害、心疾患、生活習慣病など、患者様の予後を悪化させる因子の早期発見に努めて参ります。

また、2020 年 12 月より、患者様が安心して治療が受けられるよう、かかりつけの患者様を対象とした発熱外来を開始いたしました。2021 年度も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めてまいります。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

病院を受診される患者様は何らかの苦痛、不安を抱えておられる方がほとんどです。私たちは、患者様がご自分の症状や不安を医師やスタッフに相談しやすい環境づくりに努めております。患者様の目線で、患者様と一緒に病気と向かい合う姿勢を心がけております。また、総合内科窓口として、適切な専門病院へ橋渡しすることも重要な仕事です。近隣医療機関との連携をこれからも密にしながら、患者様本位の医療に取り組んでいきたいと考えております。

研究・自己啓発活動について

2020 年度は多くの学会や研修会が中止またはオンラインによる開催となりました。そのような状況下でしたが、それぞれの専門分野の学会、研究会にも可能な限り参加し、常に最新の知識を得るように努めました。また、感染対策が万全に取られている各種研究会の座長や、医薬品会社の社内講演会など地域の講演会にリモート等で出席するなど、腎臓医療・透析医療に関する普及啓発にも力を入れております。（詳細は、「6 研究実績」参照）

地域活動について

2021 年度は新型コロナウイルス感染症の終息が未だ見えない状況ですが、地域の方々に、腎愛会を周知していただくために、診療部が中心となり、イベント・交流会を計画したいと考えております。

(2) 地域連携室

部門紹介

地域連携室は社会福祉士 2 名体制で、上山病院・うえやま腎クリニックの外来通院患者様や入退院支援、外来透析患者様の在宅療養の支援をしています。週 1 回実施されている合同カンファレンスにて患者様の支援状況の報告や、効率的な支援についての検討を行っています。また、各部署の業務が円滑に行えるよう支援を行っています。

2020 度および 2021 年度の取り組み

2020 年度は COVID-19 の影響で、医療機関との連携が鈍化し、当院への転入院が著しく減少しました。その結果、昨年 31 回実施した「介護支援等連携指導」は、2020 年度は 12 回と思うように伸ばすことが出来ませんでした。しかし、当院に入院された患者様には、退院後のモニタリングを丁寧に行い、299 名の方にモニタリングをすることが出来ました。

腎愛会では、患者様満足度調査を 2011 年より実施しており、地域連携室にて退院患者様、外来透析患者様、うえやま腎クリニック外来透析患者様に対してアンケート調査を行っています。

腎愛会での介護保険サービス事業の開始に伴い、腎愛会の地域連携室として、当法人の介護関連サービス部署ならびに、今日までお世話になっている他院様や介護関連他事業所様との連携を継続し、その関係性をさらに発展させるべく「地域包括ケアシステム」の考え方にも則した協働に取り組んで参ります。

地域連携室書類下書き件数

	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
介護保険主治医意見書	85	92	93	100	92	130	122	112
身体障害者意見書	23	28	27	33	32	39	37	37
リハビリ診療情報提供書	6	23	22	18	13	17	78	83
年金関係書類(意見書)	15	19	27	26	35	29	23	15
訪問看護	17	56	71	99	99	149	170	160
計	146	218	240	276	271	364	430	407

	2014 年度	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	2020 年度
介護支援連携指導	8	15	16	14	24	31	12
患者様モニタリング	32	52	72	132	297	308	299
計	40	67	88	146	321	339	311

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

2020 年度も患者様や、ご家族の皆様とお話し、様々な不安の解消や、ご要望に応えられるよう業務に取り組みました。また、入院された日から退院に向けての取り組みを行うことで、在宅復帰への患者様ご家族の皆様の不安解消に努めました。

研究・自己啓発活動について 　2021 年度も COVID-19 の影響で、多職種連携会議や、研修等に参加できていない状況ですが、教材・オンライン等を使用した、個人での自己研鑽に励みたいと思います。また、以後の学会参加に向け、事例研究にも力を入れていきます。
地域活動について 　COVID-19 の状況にもよりますが、2021 年度は上山病院周辺にお住いの方を対象とした、介護相談会を開催したいと考えております。

(3) 薬剤科

部門紹介

2020 年度は薬剤師 3 名体制で、処方監査、疑義照会、調剤、調剤監査、持参薬鑑別、服薬指導、薬品管理、DI 業務、配置薬管理、麻薬・向精神薬管理、治験薬管理などの業務を行ないました。正確な調剤、わかり易い服薬指導、迅速な情報提供を基本として、患者さまから求められる薬剤師、職員の皆さまから頼りにされる薬剤師を目指して努力しました。

2020 年度の取り組み

安全性、効率性、経済性の観点から業務改善に取り組み、働きやすくやりがいのある職場を目指しました。

安全性の観点からは、医師が指示した薬剤を確実に患者に服用させるために、与薬カートを用いた運用に移行し、病棟との連携を密にしたことで、スムーズで安全な投薬が行えるようになりました。電子カルテが導入されたことで、処方薬チェック、患者情報収集の迅速化、業務記録の効率化につながり、薬剤投与の安全性向上につながりました。調剤時は処方監査を徹底し、疑義があった場合は医師に照会し、安全で適正な調剤に取り組みました。薬剤管理指導は、コンプライアンスが低下している患者を中心に、それぞれの患者に合った説明・指導を心がけ、患者のアドヒアランス向上に努めました。2020 年度の薬剤管理指導件数は 281 件でした。

効率性の観点からは、医師、看護師、医事課の業務軽減のために、2019 年より疑義照会専用の直通電話を設置し、薬剤に関する保険薬局からの疑義照会を薬剤科で対応するようにしました。そのため薬剤師が対応できる疑義照会をルール化（院外処方疑義照会プロトコル）し、医師への照会件数を減らすように努めました。2020 年度の照会件数は 586 件でした。院内処方においても同様に院内処方疑義照会プロトコルを作成し、医師の業務軽減と効率化に努めました。

経済性の観点からは、後発医薬品への変更、在庫の見直し、仕入単位の小包装化を行い、適正購入、適正在庫に努めました。3 月末現在の採用医薬品数は 673 品目（内服 357 品目、外用 91 品目、注射 225 品目）で、後発医薬品採用割合は 66.4%（239 品目/360 品目〔後発医薬品/後発医薬品のある先発医薬品〕）でした。

2020 年度の院内処方箋枚数は、外来 696 枚（前年度比 87.9%）、入院 3,516 枚（前年度比 94.4%）で、注射箋枚数は 3,981 枚（前年度比 113.3%）でした。院外処方箋発行率は 95.5%（13,818 枚/14,477 枚）でした。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

どうすれば飲み忘れ、服薬間違いが起こらないかを念頭におき、患者の生活リズムと服薬状況を考慮にいれた薬剤管理指導に努力しました。次年度はさらに薬剤管理指導と病棟業務を充実させ、患者の満足度が上がるように努めたいと思います。

研究・自己啓発活動について

院内では医薬品説明会は新型コロナウィルス感染のため１回のみの開催となりました。院外では、鹿児島県病院薬剤師会、鹿児島市薬剤師会、製薬会社が主催するウェブ講演会に参加し、業務に役に立つ情報、薬剤師に必要な情報の収集に努めました。残念ながら学会参加は見送ることとなりました。

地域活動について

保存期の患者や家族を対象として行っていた「腎臓いきいき教室」は新型コロナウィルス感染のため開催されませんでした。薬剤師のテーマは「腎機能が低下した時に使用する薬剤」となっており、いつ再開してもよいようにスライドの修正、変更に努めました。

(4) 検査科　臨床検査チーム

部門紹介

臨床検査チームでは、現在 3 名の技師で検査を行っています。業務内容は、生理検査では、頚部エコー、血管エコー、心エコー、腹部エコー、心電図、ABI 検査を主に行い、臨床検査では、生化学検査、末梢血液一般検査、尿検査などを院内にて行っています。検査数は年々増加傾向にあり、検査が重なって大変な時間帯もありますが、迅速に正しい検査結果が得られる様にマニュアルを遵守し、時間に追われながらも患者様と接するときは、穏やかにゆとりを持って、また感染対策もしっかり行い、安心して検査を受けてもらえるよう心がけています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

技師によって超音波検査のできる領域にばらつきがあるので複数領域検査できるように取り組んでいます。また診療の質の向上の為に昨年から透析患者様は亜鉛、銅、マグネシウム、一般外来患者様には先ほどの亜鉛、銅、マグネシウムに加え、シスタチン C も院内にて実施可能となり当日に結果説明が可能となりました。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

異常値の早期発見の為、前回値と差が大きい場合は一言添えるように、また追加項目も早く結果が出せるように心がけています。

検査結果報告までの時間を 20～30 分とし、患者様の待っている時間短縮に努めています。全てのエコーの実施時間も 20～30 分で検査が終了できるようにしています。まだまだ改善しなければいけないところもありますが、1 分でも患者様の待つ時間を短縮し、且つ正確な検査結果が報告できるよう努力しています。

また新型コロナの流行により今まで以上に感染対策もしっかり行い、患者様に安心して検査を受けていただけるように取り組んでいます。

研究・自己啓発活動について

検査技師会、超音波検査学会に入会し、検査技師会、超音波学会主催の学会や勉強会に進んで参加し、スキルアップに努めています。ただ今回はコロナの影響で研修中止が相次いだ為、リモートや Web 研修等を受講しスキルアップに励んでいます。また検体検査に関しては、日本臨床検査技師会の外部精度管理に参加し、他院とのデータ差が出ないようにしっかりと精度を保っています。

地域活動について

『腎臓いきいき教室』では腎臓病の検査という題目で患者様に判りやすく検査について説明しています。（新型コロナ感染症の影響により開催できておりません）

(5) 検査科　放射線チーム

部門紹介

放射線チームは診療放射線技師 2 名体制で、上山病院外来・病棟、うえやま腎クリニック患者様の一般撮影（胸部・腹部等）、CT 検査、PTA の手術等の撮影、エコー検査等を行っています。
上山病院には一般撮影装置・透視台・CT 装置・外科用 C アーム、CR 装置が導入されています。うえやま腎クリニックには一般撮影装置・透視台、CR 装置、画像保存用サーバ（PACS）が設置されています。

2019 年 12 月より PACS が稼働、フィルムレス化されました。病院とクリニックの画像を 1 台の PACS で管理しどちらの画像も其々の施設から見る事ができるようになりました。

2 名と少数部署の為、検査の内容や検査日によっては患者様にお待ち頂く事もありますが、外来、臨床検査チーム、医事課などと連携をとり、患者様の待ち時間をできるだけ短縮できる体制と患者様が安心して検査を受けていただける部署づくりを目指しています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

2020 年度の撮影件数は、別紙の通りです。

2019 年度と比較し、透析患者様、外来患者様の増加により一般撮影や CT 撮影の件数が増加してきました。

エコーについては腹部エコーだけでなく、シャントエコーにも少しずつですが対応するようになり検査の幅が少し広がりました。今後も適切な報告書が返せるよう今後も技術・知識の習得を図っていきます。現在、部署全員がエコーに対応できる状態でないため、時にお待たせしていることもあります。今後はどれか 1 つでも対応きるスタッフを増やせるよう、体制を整えていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

マルチスライス CT や外科用 C アーム導入から 7 年経過しました。マルチスライス CT を導入したことで、検査に要する時間を大幅に短縮できるようになり、装置を更新したことで造影 CT にかかる時間を短縮できるようになりました。単純 CT 撮影も以前と比べ検査時間が短縮されました。

C アームを導入し、PTA だけではなく CAPD カテーテル留置の術中対応や内頸カテーテル留置等対応する検査の幅が増えました。対応する検査が増加することで被曝も増加します。今後は患者様、スタッフの被曝低減も考えて対応していきたいと思います。

研究・自己啓発活動について

放射線技師会や放射線技術学会等に入会し、積極的に研修や学会に参加しスキルアップに努めています。その他研修会にも参加し、撮影技術以外の知識向上に努めています。

地域活動について

2020 年度はイベント等で交流を図る事はできませんでした。今後イベント等開催される時には積極的に参加していきます。

(6) 臨床工学科

部門紹介

臨床工学科は、上山病院に臨床工学技士 8 名・准看護士 1 名・助手 1 名、うえやま腎クリニックに臨床工学技士 3 名の計 13 名で構成されています。

透析監視装置は、上山病院に 92 台（HD 装置 42 台、HDF 装置 50 台）、うえやま腎クリニックに 38 台（HD 装置 16 台、HDF 装置 22 台）配置してあります。

医療機器のメンテナンスを充実させ、安全で効率的な運用ができる環境作りを目指すと共に、患者様に安心して満足した透析を受けていただけるよう、他職種と連携し技術向上に努めています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

（2020 年度）

・臨床工学技士を 3 名増員し、他部署への協力体制を整え、職員組織力の向上に貢献することができました。

（2021 年度）

・HDF 装置の導入台数を増やし患者様へ効率の良い透析を提供できるよう努めていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安全で質の高い血液浄化療法を患者様へ提供できるように、2021 年度の部署目標を立てました。

（上山病院臨床工学科）

・質の高い透析を提供できるように医療機器の整備を日常的に行える職場環境を整えて透析の安全性向上に努めます。

・エコー穿刺は無理のない業務量へ調整し、より確実で安全な穿刺業務に努めます。

・相談しやすい科内職場環境を整え共に成長できるよう努めます。

・日常は無理のない業務量、有事の際に動ける部署を目指します。

（うえやま腎クリニック臨床工学科）

・患者様が安心して透析治療ができるよう装置管理を徹底します。

・医師、看護師と共に VA 管理の資質向上に努めます。

・互いの信頼関係を構築し意見交換しやすい助け合える職場環境を整えます。

研究・自己啓発活動について

・第 66 回日本透析医学会発表　一般演題　「透析排水 pH 中和システムの構築」

・配管洗浄剤や消毒液を見直し、更なる透析液のクリーン化を目指します。

地域活動について

2020 年度は特にありませんでした。

(7) 栄養科

部門紹介

栄養科は、管理栄養士２名と日清医療食品職員５名（栄養士１名、調理員４名）で構成されています。入院患者様へ提供する食事の食材発注・食材管理、調理、献立作成を日清医療食品へ業務委託しており、病院管理栄養士は入院患者様の給食管理・食数管理・栄養管理、病院一般外来・外来透析・病棟、腎クリニックへ通院・入院されている患者様とそのご家族への栄養指導・栄養相談を行っています。治療効果が上がり、なおかつ入院生活の中の楽しみの一つだと思っていただけるような食事の提供、退院後も継続して実践できる栄養指導を目指し日々業務に励んでいます。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

2020 年度は、各種業務のマニュアル化を行いました。災害発生時の非常食に関するマニュアル、ノロウイルス発生時の対応のマニュアルを作成したことで、栄養科内での対応の統一化・多職種への情報共有が行いやすくなりました。また、院内約束食事箋を作成し、日清医療食品・病院間での食事提供ルールを明確化し、業務の効率化を図りました。

【2020 年度年間栄養指導件数】

	入院	一般外来	外来透析	腎クリニック	合計
栄養指導	67	23	17		107
栄養相談	1	0	19	37	57
合計	68	23	36	37	164

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

給食管理面では、入院患者様の嗜好傾向を把握し、食事への要望を献立に反映できるよう、年４回喫食・嗜好調査を行っています。また、アレルギーのある方・食事摂取量の少ない方への個別対応も行っており、可能な限り患者様のご要望にお応えしています。栄養指導では、患者様の食習慣・生活リズムの傾聴を十分に行い、話しやすい雰囲気作り・一方的でない実践可能な栄養指導に努めています。

研究・自己啓発活動について

日本栄養士会に入会し、時代背景に合った栄養情報の収集を行っています。また、糖尿病医療連携講習会・糖尿病重症化予防推進研修会等の糖尿病・腎臓病分野の勉強会（感染対策のなされている研修会・オンライン研修など）にも積極的に参加し、得た知識や情報を業務に活かせるよう自己研鑽に励んでいます。

地域活動について

今年度は、地域活動の実施はできませんでした。新型コロナウイルス感染症が終息後は、例年講師を務めている「腎臓いきいき教室」を始めとし、地域の方々と健康的な食事を考える機会を作っていきたいと思います。

(8) リハビリテーション科

部門紹介

リハビリテーション科は 2015 年 5 月に開設され、2018 年 10 月より理学療法士 2 名体制、2021 年 5 月より 3 学会合同呼吸療法認定士の認定を受けた理学療法士が 1 名入職となり現在 3 名体制にて運動器リハビリテーションに取り組んでおります。

2018 年 6 月より指定居宅サービス事業者及び指定介護予防サービス事業者の指定を受け訪問リハビリテーション・介護予防リハビリテーションが開始。2021 年 6 月より訪問リハビリテーションも 2 名体制となり、患者様の安心した在宅生活を目指し、患者様の思いを確認しながら患者様とともに日々奮闘しております。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

① 個別リハビリテーション

② 退院前訪問

③ 退院前カンファレンス

④ 訪問リハビリテーション・介護予防リハビリテーション

【2020 年度　入院リハビリテーション介入件数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
入院	142	140	145	151	153	159	127	110	122	146	129	125

【2020 年度　訪問リハビリテーション介入単位数】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
訪問	201	164	172	126	161	175	170	159	175	164	148	188

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

安心した在宅生活が送れるよう退院後、自宅での生活が不安な方に対しては、医師の指示のもとケアマネージャの居宅サービス計画等に基づき訪問リハビリテーション(介護予防リハビリテーション)にて日常生活における不安な動作解消を目指して継続してリハビリテーションを行っております。2020 年度に当院を退院された 3 名の方が退院後も訪問リハビリテーションにてリハビリテーションを継続し、安心した在宅生活動作の獲得に向け取り組んでおります。

また、5 月より日本腎臓リハビリテーション学会より認定を受けた腎臓リハビリテーション指導士が入院・訪問リハビリテーション業務に努めております。透析病院にて従事している腎臓リハビリテーション指導士として慢性腎臓病患者・透析患者など腎機能が低下している患者様に対し、より質の高いリハビリテーションの提供を目指し邁進して参ります。

研究・自己啓発活動について

コロナ禍のため院内研修中心に参加しておりました。今後は、オンライン等を活用しながら外部の研修会にも参加し自己研鑽に努めて参ります。

地域活動について

コロナ禍のため直接、お会いしての活動は十分に行えませんでした。今後はオンライン等を活用する等、新たな取り組みを検討していければと考えております。

(9) 看護部

部門紹介

【概要】

腎愛会看護部は、上山病院の病棟、透析室、外来・手術室とうえやま腎クリニックの透析室、BCS・形成外科、そして今年度末から、訪問看護ステーション光陽が休止となり、ヘルパーステーション光陽の運営に関わることとなりました。介護の分野にも介入する事となり、分からないことだらけではありますが、日々学び、連携を取りながら看護活動を展開しています。

看護部は、看護師個々が、“主体的に自己育成できる”が目標です。コロナ禍においても、第65回日本透析学会で、腎クリの看護師がWEB上で研究発表を行いました。また、昨年度、導入したe-ラーニングを活用し、意欲的に自己学習に取り組むスタッフも増えています。

2020年度および2021年度の取り組み

今年度は、コロナウイルスの感染対策に振り回された年でした。2020年7月、鹿児島市でクラスターが発生。当院透析患者のコロナウイルス陽性が判明しました。鹿児島県初の透析患者の発症です。しかも、コロナ対応病院での透析ベッドの確保が難しく、当院で2回、透析治療を回さないといけなくなりました。学ぶ事例が少なく、保健所の指導の下、ネット検索や会議を重ねながら対応を決めていき、なんとか無事、治療を終え転院となりました。スタッフへのコロナ陽性時の患者対応の意思確認や防護服の着脱訓練、環境整備方法など、予測し事前に取り組んでいたことも功を奏したと考えます。改めて、事前準備の大切さを感じた事でした。それ以降、現在も、2週間毎に、医療安全管理部会、所属長を中心としてコロナ感染対策会議を行い、スタッフへ周知文を発行し、感染対策の徹底に取り組んでいます。

子育て世代の多い看護師の“研修に参加したくてもできない。自分の時間が作れない。知識不足が心配・・・”等の声を受けて導入した、e-ラーニングの視聴も、今では看護補助者や隣接する介護施設職員も参加し、自己研鑽に励んでいます。

今年度の看護師の離職率は、前年度を上回る約16%との結果でした。また、永年勤務していただいた看護師が、新たなる学びを求めて巣立って行った年でもありました。理由は様々ですが、ワークライフバランスの見直しや何かモチベーションをあげる取り組みが必要だと痛感しています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様ご利用者様満足度向上の取り組み～

現在の少子・高齢社会の中、医療提供体制の変化に伴い、看護実践の場や看護師の背景に関わらず、全ての看護師に共通する看護実践能力の指標と開発の支援などを目的に、日本看護協会は標準化されたクリニカルラダーを開発・公表しました。当院は、これまで独自のクリニカルラダーで人材育成に取り組んできましたが、昨年度はそのラダーを見直し、新たに、あらゆる場で活用できる“うえやま new クリニカルラダー”を導入しました。全体でレベルⅠ31名、レベルⅡ13名、レベルⅢ4名、レベルⅣ4名が認定を受けています。

また、当院で透析治療を受けておられる患者様に、“最後の時まで自分らしく生きてほしい”と事前指示書の取り組みが定着してきました。入院時に配布することで、患者様にも周知され、意思

表示をする患者様が増え、スタッフもまた、“その人が望む最期を迎えて欲しい”と、事前指示書の確認と共有の意識を高めています。
研究・自己啓発活動について 「透析室におけるコロナ感染対策」などタイムリーな内容について、製薬会社が主催するWEB研修を活用し、学びを深めました。
地域活動について コロナ禍のため、イベントの計画は勿論、参加する事もできませんでした。

(10) 外来・手術室

部門紹介

当院外来は、一般内科・腎臓内科・人工透析内科・循環器内科・血管外科・禁煙外来を掲げております。近年様々な疾患の方が、身近な医療機関として受診してくださるようになり、多岐にわたっています。循環器医師が常駐し、高血圧・糖尿病・高脂血症などの生活習慣病の指導の充実、診察や検査結果により、専門医への紹介など適切な医療を行っています。また、病院の『顔』となれますよう在宅透析医療・看護にも今まで以上の取り組みと学習を行っています。

看護師 6 名と看護クラーク 1 名体制で外来診療業務のほかに、検査案内（エコー・CT・ホルター心電図など)、手術(シャント関係・PTA・CAPD カテーテル挿入・下肢静脈瘤の手術など）中材管理を担当しています。外来チームとして医事課・地域連携室・検査科・薬局・栄養科などと連携し、患者様の QOL 向上を目指し、その人らしさを大切にしながら、支援できるよう努めています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

1・2018 年末より看護師による SDM（腎代替療法選択）を実施し、透析導入する患者に不安なく納得した治療を行っております。SDM 実施看護師が多く輩出できるように学習していきたいと考えています。取り組みから 2020 年度まで SDM 実施患者数 33 名となっております。

2・新型コロナウイルス感染症対策として、外来では 2020 年末から検査場所と環境を整え、発熱外来を設置しました。実施日は火・木・土の 15：00～17：00　完全予約制で行っております。

また、2021 年 6 月より一般外来患者様のコロナワクチン接種を実施しています。

手術年間件数　合計 363 件

シャント関連　77 件				PTA	CAPD 関連　18 件			下肢静脈瘤切除	その他
内シャント設置術	グラフト挿入	血栓除去	その他		カテーテル挿入	カテーテル抜去	その他		
36	31	5	5	252	8	6	4	1	15

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様の受診目的や病状、ニーズに沿った医療、看護を提供するには、まず気持ちよく、安心して受診していただくことと、「また来てみようかな」と思っていただくことと考えます。そのためにも私たちスタッフが、優しい笑顔・丁寧な言葉づかい・穏やかな態度で応対するよう心がけています。また待ち時間が長くならないように、受付・医事課・検査部門などと連携し、情報を共有しながら「目配り・気配り・心配り」の実践に努めています。

研究・自己啓発活動について

日本糖尿病教育看護学会（WEB 参加）　　糖尿病医療連携検体制講習会参加

2021.7　ボルヒール組織接着用の勉強会参加（4 名）

各個人で、学研 e-ラーニングを視聴し自己啓発に努めています。

地域活動について

腎臓いきいき教室はコロナ禍において今年度は中止としました。

(11) 透析室

部門紹介

透析室は、同時透析ベッド 74 床で、204 名（ＰＤハイブリッド 12 名含む）の患者様の透析治療を行っています。看護スタッフ 33 名（看護師 23 名・ケアスタッフ 9 名・クラーク 1 名）と医師・臨床工学士・ソーシャルワーカー・医療事務・検査技師と連携をとり業務を行っています。

透析患者様は、年々高齢化が進み、通院や在宅での生活に困難を来す患者様が増加しています。そのためソーシャルワーカー・家族と相談しながら社会資源を活用し在宅での生活が続けられるよう支援を行っています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

1. 新型コロナ感染症

この一年新型コロナ感染症対策に重点を置き、手指消毒や適切な個人防護具の着用、患者様へはマスク着用の徹底、発熱時の対応を周知しました。7 月に 2 名の新型コロナ感染症陽性の方があり、うち 1 名は転院先病院の受け入れまで当院で透析を実施することとなりましたが、クラスターが発生することなく無事終息し、以降新型コロナ感染症陽性者は出ていません。

新型コロナワクチンの接種も進み、65 歳以上では希望する全患者様に 2 回の接種が完了しました。65 歳以下ではスケジュールに沿って接種を行っています。

2. フットケア強化

閉塞性動脈硬化症、重症下肢虚血などの患者様があり、大学病院をはじめ多くの医療機関と連携をとりフットケアや処置、足趾切断などの OPE 後の対応を行っています。予防として定期的なフットケアやドップラーでの血流チェック、ABI 検査を行い症状悪化の早期発見に取り組んでいます。また、糖尿病合併管理として糖尿病療養指導士が約 20 名のフットケアを重点的に行っています。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様からの声を謙虚に受けとめ、「気配り、目配り、心配り」と相手を思いやる気持ちをモットーに、接遇を心がけて信頼関係が築いていけるよう努力しています。

研究・自己啓発活動について

感染対策を行ったうえで、院外研修に参加しています。また、e-ラーニングを活用した自己研鑽を行っています。

地域活動について

新型コロナ感染症のため、活動できていません。

(12) 病　棟

部門紹介

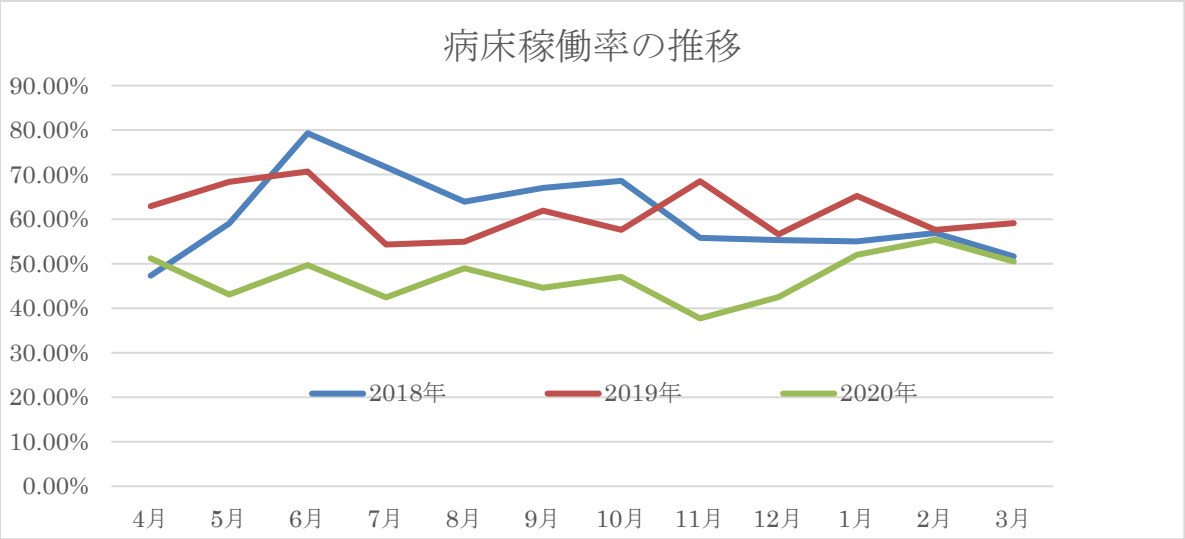
当病棟は、看護師 20 名・ケアスタッフ 10 名が所属し、医療療養型病床 40 床と血液透析 17 床の治療を行っています。慢性腎不全における療法選択期の保存治療をはじめ、血液・腹膜透析の導入期から維持透析期の治療・看護・介護に関し、『患者様及びその家族と協働する』をモットーに提供しています。

入院患者様は、年々、高齢化と共に複雑な家庭環境の方が増えています。食事・内服薬・シャント・体重等の自己管理指導を行い、社会資源を必要とする方については、他職種、他施設と連携し、安心して入退院できる環境づくりに取り組んでいます。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

【導入実績】　腹膜透析導入 7 名　　血液透析導入 26 名　（2020 年度 1 年間）

【入院患者の手術件数】　　149 件/年　（2020 年度 1 年間）



エコー下穿刺の取り組み（看護師）

2 名の看護師が「エコー下穿刺技術プログラム」に沿って習得し、穿刺時の侵襲や恐怖を軽減できるようになりました。今後も看護師の穿刺技術向上を目指します。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者およびご家族が、治療について理解し納得された上で、前向きに取り組める療養環境作りを目指しています。また、医師をはじめ薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカー、理学療法士、訪問看護師等と連携を密にとり、安心して退院後の生活へ移行できるよう病棟看護師が中心的役割を担っています。維持透析患者様においては、自宅や施設との連携がスムーズとなるよう、電話連絡だけでなく連絡帳を活用しています。

研究・自己啓発活動について 　e-ラーニング活用及び感染対策を行い、院外研修へ参加し自己研鑽に努めています。 介護福祉士　2名取得
地域活動について 　新型コロナ感染症により取り組むことが出来ていません。

(13) うえやま腎クリニック

部門紹介

透析室では、約 73 名の患者様の透析治療を行っています。透析スタッフ看護師 9 名・臨床工学技士 3 名・ケアスタッフ 2 名と医師 2 名が所属し他職種と協働しながら業務を行っています。

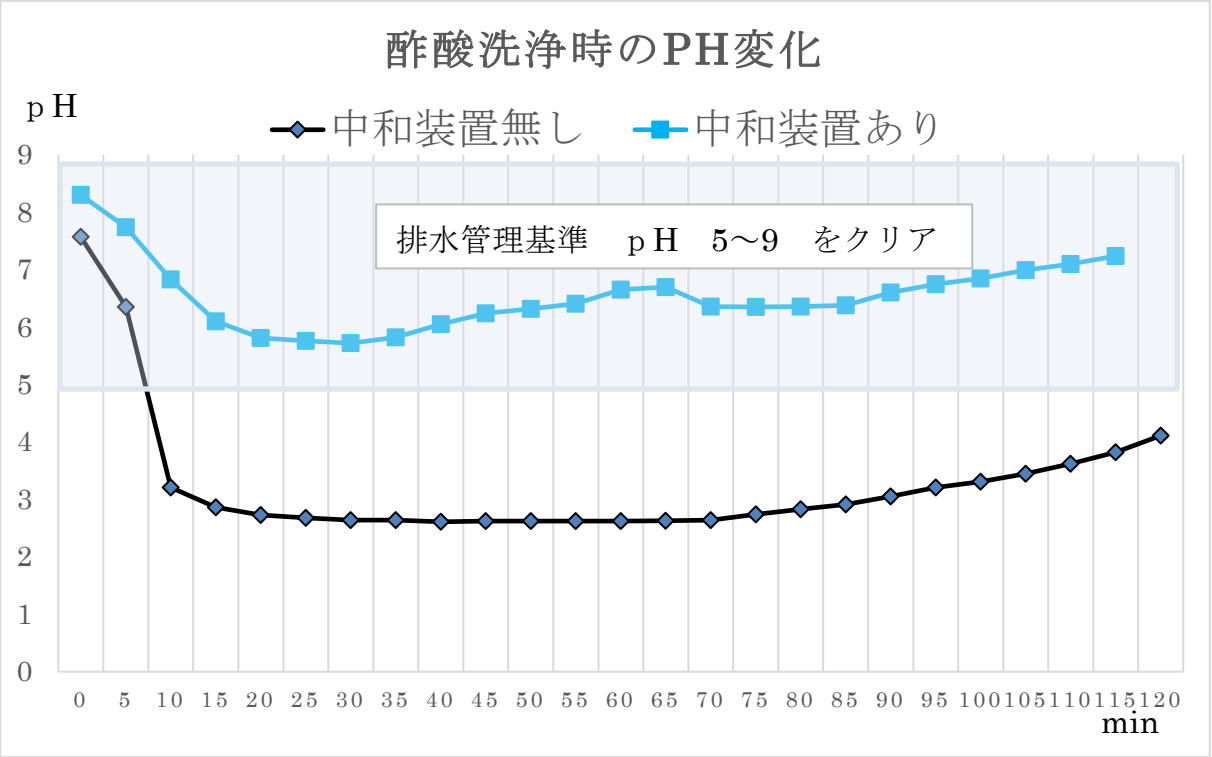
また落ち着いた雰囲気の中で透析治療を行っています。患者様とご家族そして職員にも笑顔がうまれる安心・安全な治療環境と満足と信頼の看護を実践できるよう取り組んでいます。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

＜臨床工学科＞

透析排水に対する pH 中和システムの開発・運用を行いました。

余った透析液を利用し酸性排液の中和を行います。特別な薬剤を使用せず環境・資源にもやさしいシステムを構築しました。（第 66 回日本透析医学会発表）



＜看護部＞

1. エコー下穿刺の取り組みとして現在習得している 4 名の看護師の他、2 名の看護師がエコー下穿刺修得に向けて取り組んでいます。
2. 透析患者 73 名のうち 32 名が、糖尿病合併症管理料の対象者であり、月 1 回 30 分かけてフットケア・指導を行っています。スタッフ協力体制のもと、業務改善を行いながらケアの時間と記録の時間を確保し継続して取り組んでいます。今後も患者様と共に「足を目と手で見る」機会を増やし患者自身が行えるフットケアを提案できるように引き続き取り組んで行きたいと思います。

＜形成外科外来＞

粉瘤・血管拡張性肉芽腫・母斑（ほくろ）・疣贅（イボ）・稗粒腫・アクロコルドン・軟性線維腫・

ボーエン病・基底細胞がん・有棘細胞がん等など外傷・新鮮外傷・傷跡等 対応しています。また、新たに、眼瞼下垂と腋臭症の手術や、腋窩多汗症におけるボトックス治療も開始しました。フットケアでは、巻き爪・陥入爪・胼胝・鶏眼等の処置を行い、矯正インソールを併用しながら足病変の根本的原因解決を目指しています。足病変の起こりにくい足づくりの周知を目指し、普段から患者自身が足へ関心を持って生活できるよう、患者自身の意識を変えられるような関わりを大切にしています。

＜2020 年度　手術件数＞

腫瘍全般		外傷全般		その他※
粉瘤、いぼ、脂肪腫、皮膚癌等	ほくろ等（自由診療含）	裂挫創、挫滅創等	陥入爪、巻き爪等（自由診療含）	―
212	73	42	158	50

その他※は眼瞼下垂、腋臭症等が該当します

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

看護師を中心として医療スタッフが日々、知識や技術の向上を図り、患者様に寄り添い安心・安全な看護ケアが実践できるように職場環境を整えて行きます。ご家族や関係する施設と連携しながら社会資源を活用しその人らしい生活を支える看護実践に取り組んで行きます。

研究・自己啓発活動について

・2020 年 6 月　日本透析学会　WEB ポスター発表
　「当院でのフットケアの取り組みと現状」
・鹿児島県看護協会主催
　認定看護管理者教育課程ファーストレベル
・クリニカルラダーレベルⅢ　1 名　取得
・学研 e-ラーニング視聴

地域活動について

クリニック正面玄関前にバス停があり、地域の防犯対策として照明を 22 時まで点灯しています。

(14) 事業課（ビューティー・コア・サポート★）

部門紹介

ビューティー・コア・サポート★は医師 1 名、看護師 2 名(形成外科兼務)と、エステティシャン 2 名で日々の業務にあたっています。2017 年度より新たに始めた事業で、「時代に合わせた最新の治療を常に模索し、あなたの 10 年先、20 年先を見据えた情報を提供することで、あなたの健康的な人生設計をサポートする」自由診療の外来です。

事業内容は①分子栄養療法、②美容施術、③点滴・注射、④レーザー治療、⑤フットケア、⑥サプリメントやコスメ等の商品販売をしています。

2018 年 6 月からは保険診療の形成外科が開設され、自由診療と連携を図って、保険診療と自由診療の相乗効果を生み出しています。今後もスタッフ一人ひとりが最新の情報や知識を学び、技術を磨くことで、ご利用者様に選ばれる安心・安全なサービスを提供していきます。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

ビューティー・コア・サポート★は、「身体の内側と外側」の両面からアプローチできる自由診療外来です。

分子栄養療法とは「身体は全て繋がっているという考えのもとに不足している栄養素を補うことで身体を細胞レベルから整える治療法」です。この「身体の内側から」のアプローチの基本となる分子栄養療法をより多くの皆様に知って頂くために、ホームページのリニューアルをして内容を充実させ、ブログやインスタグラムでの情報発信も開始し、インターネット上での広報に力を入れてきました。

また「身体の外側から」もアプローチしていくため、情報発信は勿論のこと、それぞれの施術のスキルアップに加え、フットケアの知識や技術の強化にスタッフ全員で取り組みました。

2021 年度は健康と美に対しての正しい知識を幅広い方々に知って頂くため、またお客様に気軽に体験していただけるように様々なキャンペーンを企画しています。これからも来院されたお客様が満足される空間、施術、おもてなしが出来るよう、取り組んでまいります。また、お客様が利用しやすいようにLINE（ライン）での予約システムやポイントサービスも充実させていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

2020 年度はコロナ禍において、健康や美容への投資が増えました。当院においても免疫力をアップするための対策やスキンケアに関する最新の情報やキャンペーンの情報を発信してきました。

接客の基本である挨拶・表情・身だしなみ・態度・言葉づかいを日々チェックし、お客様や職員に対しても適切な接遇を心がけ、お越しいただいた皆様にリラックスしてお過ごしいただけますよう感染予防を重視した環境整備にも力を入れていきます。

また、お客様に満足していただけるように、スタッフ同士で定期的に施術の技術チェックも実施しております。

今後もアンケートによる満足度調査や、お客様の声を直接聴く機会を増やすことで、お客様満足度の向上を目指します。

研究・自己啓発活動について

スタッフ全員で分子栄養療法に取り組み、6カ月後に経過・成果の発表を行いました。上山院長の診断と指導のもと、お客様の立場になって体験することができました。この体験をもとに今後のお客様のニーズやご要望に合わせたご提案や対応に活かしていきます。

その他のカウンセリングチェックや施術の技術チェックも定期的に行いました。

地域活動について

2020年度はコロナ感染拡大の影響で、対外的なセミナーを開催することができませんでした。

2021年度は状況を見てセミナー等の開催を企画していきますが、SNSでの情報発信やオンラインを活用した地域の皆様への情報発信を継続・強化していきます。

(15) 高齢者福祉複合施設 光陽

部門紹介

光陽は、サービス付き高齢者向け住宅・ヘルパーステーション・ケアプランセンター・訪問看護ステーション・デイサービスからなる高齢者福祉複合施設です。

サービス付き高齢者向け住宅は、居室 30 室（内 4 室は夫婦部屋）となっており、2021 年 3 月末時点で 30 名の方が入居されています。

2021 年 1 月に立ち上げたヘルパーステーションは、サ高住入居者様や近隣の方々の生活支援を行っています。

ケアプランセンターは、上山病院地域連携室とも連携し、法人内や地域の皆様の介護のお困り事を解消するお手伝いをしております。

訪問看護ステーションならびにデイサービスについては、2020 年 12 月末をもって一旦休止といたしました。また新たな形で皆様のお役に立てるよう、準備中となっております。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

2020 年度は当施設でも新型コロナウイルス感染症への対応に追われる一年でした。

上山病院に準ずる感染対策を行い、入館時の検温・体調確認は現在まで行っています。また担当者会議や研修等も出来るだけオンラインで参加しています。様々な感染対策を取ることにより、現在まで館内での感染は確認されていません。

2021 年度も引き続き、上山病院と協力しながら新型コロナウイルス感染症への対応を行い、入居者様やご利用者様が安心して暮らせる体制を作っていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

2020 年度は入館制限をせざるをえず、入居者様とご家族との交流の機会が例年より制限される 1 年となりました。その中でも屋外での面会やオンラインでの面会など、可能な限りの対応に努めました。

年 1 回の入居者懇談会は、例年と形を変え文書による説明となりましたが、継続し入居者様とご家族のご意見・ご要望をお聴きし、様々なニーズに対応できるような支援体制の強化に努めました。

研究・自己啓発活動について

e-ラーニングを導入することで、人との接触もなく、時間や場所も選ばずにそれぞれで研修を受けられる体制となりました。2021 年度は、それぞれに必要な研修プログラムをピックアップし、計画的に受講できる仕組みを整え、一人一人のスキルを高めていきます。

地域活動について

2019 年にスタートした介護相談会「介護・福祉の茶のん会」は、上山病院と光陽の共同で開催し、介護に関するお悩みやご相談にのるだけでなく、腎愛会の介護事業を知っていただく機会ともなっています。

残念ながら 2020 年度の開催は見送りました。新型コロナウイルス感染症が終息しましたら再開する予定です。

(16) 事務部

部門紹介

事務部は医事課と介護課で構成されています。

医事課は、上山病院 並びに うえやま腎クリニックの受付、医療事務、介護請求事務、医師の代行入力業務などを担当しています。2020 年 4 月には、医事課に情報システム管理チームを新設し 2 名が配属され、2019 年 12 月に導入した電子カルテを始めとする、院内のシステム、ネットワーク、ハードウェア等の業務を集約しました。今後は、院内システム等の利用に関するルールの再検討並びに使用方法などの院内研修等も担う予定です。

介護課はこれまで同様に高齢者福祉複合施設 光陽の運営を行っています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

2020 年度は当法人でも新型コロナウイルス感染症への対応に追われる一年でした。事務部では、院内での感染対策会議の事務局と決定事項の発信、外部機関からの情報収集並びに各部署への情報発信、感染対策ポスターの作成と掲示、ホームページへの更新など、現場の職員が感染の心配なく業務が行えるよう、現在に至るまで取り組みを続けています。

それに加え、（株）ユーエスケイ企画の協力を貰いながら、衛生用品の確保にも努めました。

事務部 医事課・経営管理部を中心に、病院入口での検温・問診の業務や発熱外来時の事務的対応を行い、院内へウイルスの持ち込みがないよう水際での対応を行っています。

2021 年度も引き続き新型コロナウイルス感染症への対応を行い、通常診療が継続できるよう努めていきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

ご意見箱をはじめ患者様・ご利用者様よりいただいた要望・意見等について、今後も真摯に対応してまいります。

2020 年度から 2021 年度にかけて、看護部が導入している教育制度「ラダー制度」をその他コメディカル部門と事務部門にも拡げ、計画的な人材育成を行う準備を進める予定です。

研究・自己啓発活動について

2020 年 9 月に岡山で開催される予定だった、全日本病院学会へ演題登録をいたしましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で 1 年延期となりました。引き続き学会発表のためのデータ収集と分析を進めています。

院内発表会も中止となりましたので未だ発表の機会はありませんが、日々の業務の中で業務改善と学会発表に繋がることに取り組んでいます。

地域活動について

2019 年にスタートした介護相談会「介護・福祉の茶のん会」は、上山病院と光陽の共同で開催し、介護に関するお悩みやご相談にのるだけでなく、腎愛会の介護事業を知っていただく機会ともなっています。

残念ながら 2020 年度の開催は見送りました。新型コロナウイルス感染症が終息しましたら開催する予定です。

(17) 医事課

部門紹介

私たち医事課は、診療に関する事務的業務の役割を担っております。受付・一般外来・透析外来・入院の保険請求事務、各種書類の手続き、健診業務、未収金管理、診療録管理に加えて、医師代行診療入力作業を兼務しております。また、診療に関する集計業務・統計資料作成や施設基準等に係る手続き・実施報告も担当しており、病院経営、医療の質の向上に欠かせない情報を作成しております。また、今年度より情報管理チームが立ち上がり、電子カルテ運用管理や院内情報システムの管理など、適正な運用が行えるよう努めています。他部署との連携を図りながら、医療サービスの提供に努めています。

平成 2020 年度の取り組み

① 医事課新規体制

今年度より医事課が、医療・介護事務チームと情報管理チームの 2 チームに再編されました。情報管理においては、昨年度導入された電子カルテ・院内情報システムの運用保守管理及びヘルプデスクを担うこととなりました。2021 年 2 月からは SE も入職し、専門性を活かし対応しております。2020 年 8 月からは、事務部医師事務作業補助者の入職配置があり、これまで医事課で行っていた医師代行入力業務を移行し、レセプト業務等においても協同して取り組んでおります。

② コロナウイルス感染症対策

正面玄関での検温・問診業務を医事課職員がメインとなり、経営管理室・事務部との協同で、1 名配置しました。非接触型自動体温測定器の導入、自動ドアの設定変更などを行うなど業務改善にも努めております。コロナ終息となるまでは院内への感染拡大とならないよう努めてまいります。12 月より発熱外来診療も開始され、コロナウイルス特例措置によるオンライン診療対応、対面診療においても感染対策を施すなど、これまでにない対応が続き、電話対応・感染対応チェックリスト作成などマニュアルを改め、手順の平準化を進めてきました。

かかりつけ患者様が安心して受診できるよう関係部署との連携を密にし、新体制を整えて対応しております。

③ 2020 年診療報酬改定

当院の専門とする透析治療における透析技術料や PTA・内シャント造設の手術料などがマイナス改定となり、法人の収益に少なからず影響がありました。そのため、新設点数や加算点となる項目を深読みし、他部署スタッフからの情報収集を行い、管理指導料・透析障害加算・短期滞在手術入院の算定を増やすことで、医療行為がすべて請求できるよう取り組んでおります。

2020 年度　新規施設基準届出・・・腎代替療法指導管理料 250 点　（実績 17 件）

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

　笑顔は、言葉を超えた最高のコミュニケーションツールとなることから、「明るい笑顔」をモットーに、話しかけやすい・相談しやすい受付対応に心掛けています。院内接遇講師による、接遇マナー研修の開催や受付対応での現場指導も行われています。

　正確な業務知識とより患者様に合わせた対応に努め、満足度アップにつなげています。

研究・自己啓発活動について

　月１回　開催される一般職研修への参加で学びを得ています。

　e-ラーニングでの研修参加を行い、自己啓発に努めています。

地域活動について

・コロナ禍となり、地域活動はできませんでした。

(18) グループ本部　経営管理部

部門紹介

経営管理部は 2016（平成 28）年度に設置された部課です。

2020（令和 2）年度は所属の経営管理室においては法人全体の管理に関わる業務統括と事業課でのビューティー・コア・サポート★事業のサポートを行ってまいりました。

2021（令和 3）年度はメディカルサービス法人である株式会社ユーエスケイ企画を含むグループ全体の管理部門として担当業務の拡大をしました。

2020（令和 2）年度および 2021（令和 3）年度の取り組み

2020（令和 2）年度は、医療法人腎愛会、ユーエスケイ企画の管理部門の業務効率化のため、「医療法人腎愛会　法人本部」を「腎愛会グループ本部」へと組織変更して人員配置の見直しを行い、グループ全体の人事・経理財務・企画運営を担う体制へと移行しました。2021（令和 3）年度は、ユーエスケイ企画の体制見直しをベースとして、グループ全体の管理部門のさらなる効率化を目標に、業務分担・人員配置の見直しを行います。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

患者様満足度の向上には職員資質の向上＝役職者の資質能力向上が不可欠と考えます。

2016（平成 28）年度より法人本部の所属部署、地域連携室、高齢者福祉複合施設「光陽」、株式会社ユーエスケイ企画の管理職での勉強会を月 1 回行ってきました。2018（平成 30）年度から業務扱いの研修に格上げし、管理職・役職者として職員の手本を示すべく研鑽を積み、2019（令和 1）年度においては、課題の読み込みと感想文提出については役職者全員に範囲を広げ、役職者の能力の底上げに取り組み始めました。

（課題の読み込みと感想文においては、自分の考えや意志を周囲が理解できるように伝えられる語彙力、文章力、思考力を鍛えるため、副主任以上に提出を義務付けています）

2020（令和 2）年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、積極的な研修等への取り組みができなかったため、2021（令和 3）年度には「ニューノーマル」に対応する新たな取り組みを提案する予定です。

研究・自己啓発活動について

感染対策による規制がある中でも、法人の適正運営に必要な人事・労務に関する関連法規、人事制度、組織運営、経理・財務、人材育成、教育研修プログラム、組織論・リーダーシップ等をテーマとした学びを、各自行うよう働きかけを行いました。

地域活動について

「医療・介護・自由診療」という腎愛会グループの 3 本柱で、地域に貢献すべく、2019（平成 31）年 2 月よりクリニックビューティー・コア・サポート★事業において「ビューティー・コア・サポート★セミナー」を年 12 回開催し、地元鹿児島の素晴らしさと、クリニック上山菜穂院長の専門である分子栄養学に基づいた健康・抗加齢についての先進的な情報発信ができました。

2020（令和 2）年度は、世の中の流れに合わせ、オンライン、SNS での発信を強化し、一定の成果を得られました。2021（令和 3）年度は、地元宇宿商店街への貢献と、地元への情報提供を主として、食と健康のイベントの開催とラジオ番組での発信（ユーエスケイ企画　提供）を予定しています。

(19) 施設課

部門紹介

施設課は運転チーム 7 名、清掃チーム 7 名、運転業務委託 5 名の 19 名で構成しています。

送迎用の車両はワゴンタイプ 5 台、軽自動車 1 台で運営しています。

送迎車 6 台・光陽車 2 台・多目的車 1 台の計 9 台の車両管理を行っています。

運転チームは、透析患者様の送迎を主な任務とし、鹿児島市内、吹上・伊集院方面の送迎を行っています。また上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽・ユーエスケイ本部ビル・霧島山荘などの建物や駐車場の管理・防火管理・緑化、設備機器全般の維持管理として、空調機のフィルター・換気扇の清掃、消防設備機器、車いすの点検や、防犯巡回、等の業務を行っています。

清掃チームは、上山病院・うえやま腎クリニック・高齢者福祉複合施設光陽施設内・ユーエスケイ本部ビル各フロアの床清掃・ゴミ回収・じゅうたん清掃・浴槽清掃・トイレ清掃の他、建物周りなど細部にわたり清掃業務を行っています。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

1. 無事故・無違反を推進するため安全運転管理者を選任しています。
2. 運転技能研修では、乗り心地や運転操作などについて意見交換をおこない、運転技能向上の取り組みを行いました。
3. 乗降介助研修や勉強会・ヒヤリハット報告会を開催し、送迎運転の安全性向上に努めています。
4. 車両事故・故障を事前に防ぐ為、始業前点検・日常点検・週点検・月点検を確実に行いました。
5. 他部署との連携を密に取り業務改善に繋げます。
6. これらの取り組みから、患者様に安全で安心なやさしい送迎業務を今後も実践します。
7. 施設管理業務に力をいれ、建物及び設備の状態維持及び改善ができる様、日々の管理・点検を行っています。
8. 各施設年２回の防火訓練を実施しました。

清掃チームは、清掃業務の標準化を図る目標をたて、清掃業務の基本や清掃用具の取り扱いについて研修を行い、清掃技術のレベルアップに努め綺麗な病院清掃、安全な清掃作業を行います。

施設外職員駐車場周りの美化活動や施設内外の緑化活動を施設課全体で行っています。

信頼され選ばれる病院を目指して　～患者様満足度向上の取り組み～

運転チームでは、患者送迎の目標である「交通ルールを厳守し、地域の模範となる人に優しい送迎サービス」を目指し、安全運転管理者を中心に「無事故・無違反」を実践していきます。

各施設内外の清掃では、施設課スタッフ全員で、清潔で快適な施設環境を整え、患者様はじめ来院される方々が、気持ち良く施設をご利用頂けるように取り組んでいきます。

研究・自己啓発活動について

1. 院内外研修に積極的に参加し、腎愛会の医療・接遇・マナーについて知識を広げていきます。
2. 安全で安心な送迎業務を行うため外部研修（福祉車両運転者講習）を運転チーム全員が取得し、車両事故・転倒事故の防止に努めます。他部署でも安全運転に関する研修・講習を行います。
3. 清掃技能研修（ＤＶＤ研修など）を定期的に行い、清掃技術を高めます。

地域活動について

美化活動として、病院周りだけではなく、職員駐車場付近まで範囲を拡げ美化活動しています。

(20) 経営管理室

部門紹介

経営管理室は、常勤職員１名、短時間職員１名体制で、日々の業務を行っています。主な業務として、①人事・給与業務、②経理・財務業務、③院内研修・各種研修や会議の取りまとめ等の業務があり、それ以外に法人全体に関わる行事・イベントの企画・運営も担っております。

2020 年度および 2021 年度の取り組み

①人事・給与：当法人独自の職員シートの運用を継続して行っています。グループ評価者の評価基準や視点の標準化、フィードバック時の面談方法などを同じ水準で実施できるように取り組んでいきます。また 2020 年度より組織再編によりグループ本部として、グループ全体の人事・給与業務を担っています。2021 年度はデータの一元化によるメリットを生かし業務効率のＵＰやデータ分析に繋げていきます。

②経理・財務：2020 年度は人事・給与と同様にグループ全体の経理・財務を担いました。2021 年度は一元化されたデータを元にグループ全体の経営状況を把握し、安定した経営基盤を構築できるよう取り組んでいきます。

③院内研修・各種研修：コロナ禍で院内研修や各種研修が縮小されたことで、リモートを活用した研修体制の構築に取り組みました。2021 年度はこれからの主流になるであろうリモート研修を積極的に受講できるような仕組みづくりや情報発信を強化していきます。

信頼され選ばれる病院・施設を目指して～患者様・ご利用者様満足度向上の取り組み～

患者様・ご利用者様の満足度アップには職員の満足度の向上が不可欠です。しかしながら、2020 年度はコロナ禍で職員のモチベーション向上に繋がる企画立案ができませんでした。2021 年度は状況を踏まえ福利厚生の充実や働きやすい職場環境の整備に努めます。

研究・自己啓発活動について

昨年度に引き続き、事務系職員の研修を月に１回開催し職員の学びの場としました。コロナ禍で外部への研修の受講が厳しくなる中、リモート研修に対応すべく院内の環境整備に努めました。2021 年度は情報収集を強化して、リモート研修に積極的に取り組みます。

地域活動について

法人の企画するイベントに積極的に参加して、地域の方々との交流を深めます。

６ 研究実績

(1)発表　　なし

(2)座長

年月日	演題名	氏名	学会名	会場名
2021年2月9日	神経障害と細小血管障害について	上山達典	第9回糖尿病と血管障害研究会	城山ホテル鹿児島・WEB配信

(3)院内講演会　　中止

(4)講師

年月日	演題名	氏名	主催	会場名
2020年5月17日	大丈夫⁉あなたの20年後～美の源は骨と筋肉～	上山 菜穂	オーソモレキュラーアカデミー	オンライン
2020年6月23日	循環器領域における性差医療	嘉川亜希子	県立福島医大臨床講義	県立福島医科大学
2021年1月24日	”かごんま流儀”医師と始める人生設計～100年輝く身体作りの方程式～	上山 菜穂	オーソモレキュラーアカデミー	オンライン
2021年3月2日	スクロオキシ水酸化鉄の適正使用における情報提供活動について	中島　悟	キッセイ薬品工業㈱	谷山サザンホール

(5)院内研究発表会（2020年9月10日）　　中止

7　院内研修開催実績

(1)法定研修

年月日	テーマ	講 師	主 催	参加人数
2020年8月11日	医薬品の安全使用 ～業務は確認に始まり確認に終わる～	上山病院　薬剤科　寺師	医療安全委員会	170名
	医療安全研修 ～どうして法定研修って必要なのだろう～	上山病院　医事課　波江野		
	新型コロナウイルス感染対策 ～当院陽性患者のHD対応を通して～	上山病院　看護部　栗野	感染対策委員会	
2021年3月9日	医薬品を安全に使用するために	上山病院　薬剤科　永松	医療安全委員会	162名
	麻薬インシデントを通して	上山病院　病棟　小湊	感染対策委員会	

(2)薬剤科勉強会

年月日	内　容	講師	参加人数
2020年4月27日	薬剤科　ミルセラ注シリンジ 勉強会	グラクソ・スミスクライン㈱	13名

※以後、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催見送り

(3)看護部研修

年月日	内　容	発表者・講師	参加人数
2020年4月15日	看護師・臨床工学技士　新人研修 ～目標管理と倫理について～	上山病院　看護部　三原	5名
2021年1月14日	クリニカルラダー説明会 ～みんなでレベル☆を取得しよう～	上山病院　看護部　三原	5名

(4)事務担当者会議管理職研修

年月	内　容	感想文提出
2020年4月	月刊誌『致知』2020年5月号「先達に学ぶ」についての意見交換	10名
2020年5月	月刊誌『致知』2020年6月号「鞠躬尽力」についての意見交換	10名
2020年7月	月刊誌『致知』2020年7月号「百折不撓」についての意見交換	9名
2020年8月	月刊誌『致知』2020年8月号「鈴木大拙に学ぶ人間学」についての意見交換	7名
2020年10月	月刊誌『致知』2020年10月号「人生は常にこれから」についての意見交換	6名

(5)一般職研修

年月日	内　容	講師	参加人数
2020年6月17･18日	コスト削減を意識しよう	経営管理室　藤間	23名
2020年8月19･20日	電話対応についての研究・実例など	事務部　石井	28名
2020年9月16･24日	特定健診について	医事課　園中	20名
2020年10月21･22日	「すぐやる人」になるためのヒントを学ぶ	経営管理部　脇	31名
2020年11月18･19日	あおり運転厳罰化　10の違反項目	施設課　森尾	23名
2020年12月16･17日	透析患者の介護保険認定者数の現状	地域連携室　脇田	25名
2021年1月20･21日	60歳で後悔しない生き方のヒント	事業課　馬場	23名
2021年2月17･18日	上山病院透析患者対応の回顧	高齢者福祉複合施設光陽　有園	31名
2021年3月17･18日	広告マーケティングの世界	㈱ユーエスケイ企画　日髙	25名

(6)入職者研修

年月日	内　容	講　師	参加人数
2020年4月9･10日	新規入職者研修	各部署・委員会	12名
2020年9月8･29日	中途入職者研修	各部署・委員会	6名
2020年12月8･22日	中途入職者研修	各部署・委員会	5名

(7) その他の研修

年月日	内　容	発表者・講師	参加人数
2020年4月16日	体験からの学び	宮川・森・作下・玉利・南	50名

８　1年間の主な出来事

4月1日　　開院記念式

　　永年勤続表彰

4月9～10日　　新入職者研修

8月19～21日　　日本腎臓学会（ハイブリッド開催）

8月27日　　鹿児島県透析医会学術講演会（WEB開催）

9月1日　　日本透析医会災害時情報伝達訓練

11月2～24日　　日本透析医学会（WEB開催）

11月24日　　鹿児島県透析医会学術講演会（WEB開催）

12月2～3日　　日本慢性期医療学会（WEB開催）

12月29日　　仕事納め

1月4日　　年始式

９　医療機器

ＣＴ

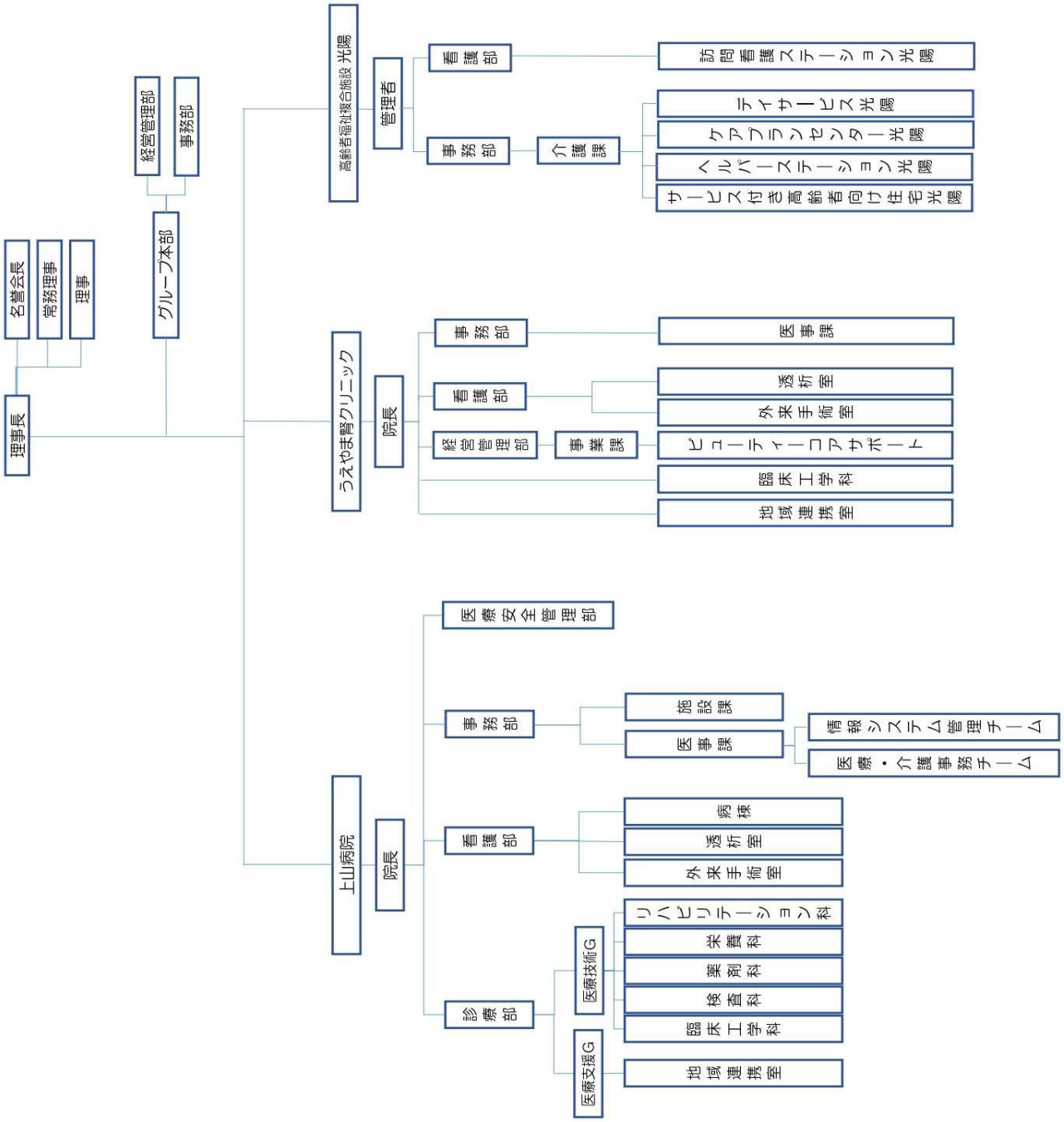
透析用監視装置

超音波断層装置

【その他】

電気ﾒｽ
手術台
患者監視装置ﾍﾞｯﾄﾞｻｲﾄﾞﾓﾆﾀｰ
ｾﾝﾄﾗﾙﾓﾆﾀｰ
ﾊﾟﾙｽｵｷｼﾒｰﾀ
聴力計ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀ
ﾏｲｸﾛｽﾓｰｶｰﾗｲｻﾞｰ
長時間用心電用ﾃﾞｰﾀｰﾃﾞｺｰﾀﾞ
顕微鏡
心電計
血圧脈波検査装置
超音波診断装置
（腹部・心臓・頚部・血管）
吸引機
自動血球計数測定装置
生化学自動分析装置
ｴﾝﾄﾞﾄｷｼﾝ測定装置
純水装置（ｵﾙｶﾞﾉﾋﾟｭｱﾗｲﾄ）
電解質分析装置
逆浸透水処理装置
多人数用透析液供給装置
多人数用透析監視装置
個人用透析装置
個人用逆浸透水処理装置
自動溶解装置
透析液ｸﾘｰﾝ化ﾕﾆｯﾄ
浸透圧分析装置
血圧監視装置
透析用監視装置
滅菌ﾊﾟｯｸｼｰﾗｰ
高圧蒸気滅菌器ｻｰﾎﾞｸﾚｰﾌﾞ
ｶﾞｽ滅菌器ｹｽﾐｸﾚｰﾌﾞ
超音波式ﾈﾌﾞﾗｲｻﾞｰ
除細動器
ＡＥＤ
錠剤自動供給装置
X線一般撮影装置
X線CT装置
CR装置
電子ﾎﾟｹｯﾄ線量計
X線ﾃﾚﾋﾞ装置
凝固測定用経過時間ﾀｲﾏｰ
外科用Cｱｰﾑ

10 組織図

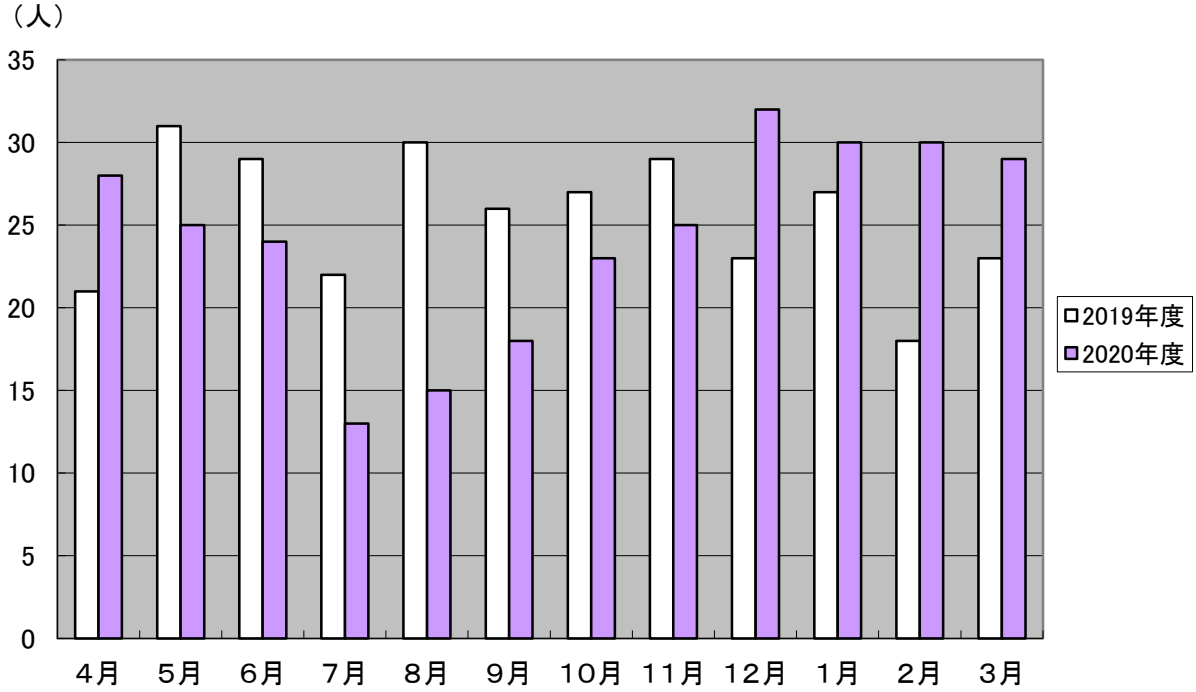

理事長
名誉会長
常務理事
理事
グループ本部
経営管理部
事務部
高齢者福祉複合施設 光陽
管理者
看護部
訪問看護ステーション光陽
事務部
介護課
デイサービス光陽
ケアプランセンター光陽
ヘルパーステーション光陽
サービス付き高齢者向け住宅光陽
うえやま腎クリニック
院長
事務部
医事課
看護部
透析室
外来手術室
経営管理部
事業課
ピューティーコアサポート
臨床工学科
地域連携室
上山病院
院長
医療安全管理部
事務部
施設課
医事課
情報システム管理チーム
医療・介護事務チーム
看護部
病棟
透析室
外来手術室
診療部
医療技術G
リハビリテーション科
栄養科
薬剤科
検査科
臨床工学科
医療支援G
地域連携室

11 委員会活動

名称	内 訳	開催頻度	人数	委員会の活動内容
医療安全管理委員会		年 2 回	7 名	医療安全管理のための統括調整機能を果たす委員会。 医療安全管理のための組織に包括される各委員会の代表者と医療安全管理者から構成される。
第1委員会	医療安全	月 1 回	34 名	ヒヤリハット報告書の収集分析等を通して、医療事故の防止、安全かつ適切な医療の供給体制の確立を目的として活動する。
	医療事故		35 名	医療事故・医事紛争の予防対策の検討や医療事故発生時の原因究明・改善策の提案など、医事紛争を解決するための活動を行う。
	倫 理	隔月 1 回	10 名	倫理的諸問題を解決するための活動を行う。
第2委員会	感染対策	月 1 回	34 名	院内感染の予防対策や知識の啓蒙を図り、感染の発生防止体制の確立を目的として活動する。
	輸血療法			血液製剤の安全供給かつ適切な使用の実践が行われるための活動を行う。
第3委員会	安全衛生管理	月 1 回	29 名	職場の安全管理や職員の衛生管理を行う。
	医療ガス			医療用ガス及びその供給設備についての安全管理を行う。
第4委員会	褥瘡対策	月 1 回	27 名	入院患者様の褥瘡発生を防止し、発生した場合に適切な治療を行うための活動を行う。
	給 食			給食業務に関する連絡調整を行うと同時に、おいしい食事提供のために検食を行い、栄養士に意見を伝え、改善に努めることを目的とする。
第5委員会	薬事委員会	月 1 回	11 名	医薬品の適正使用及び管理や新規医薬品の採用の決定を行う。
第6委員会	透析機器安全管理	月 1 回	13 名	透析液の水質管理を行い、安全な透析を行うための活動を行う。
第7委員会	教 育	月 1 回	28 名	職員に対する院内教育についての企画・総括・調整を行う。また、年に1回、院内研究発表会を開催する。
	接遇マナー			外部講師による指導も受けながら、接遇向上のための活動を行う。委員は、学んだことを職場に持ち帰って、職員に実践してもらう役目を担う。

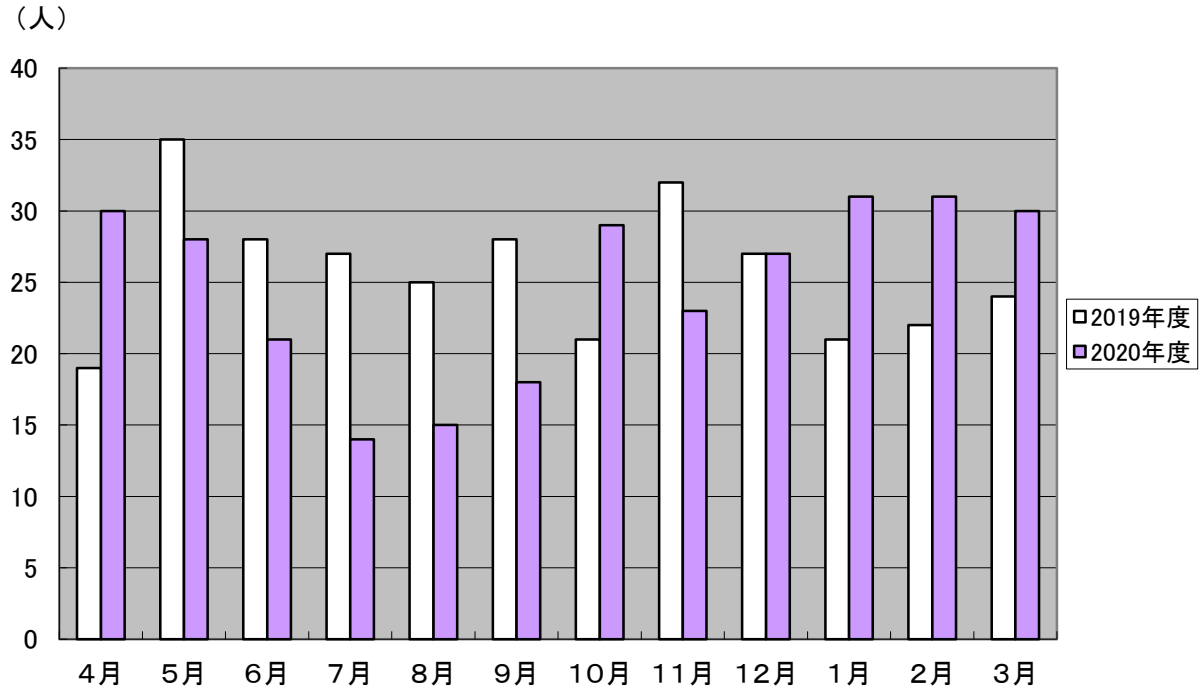
12 統計 (1)患者データ【上山病院】

① 新入院患者数



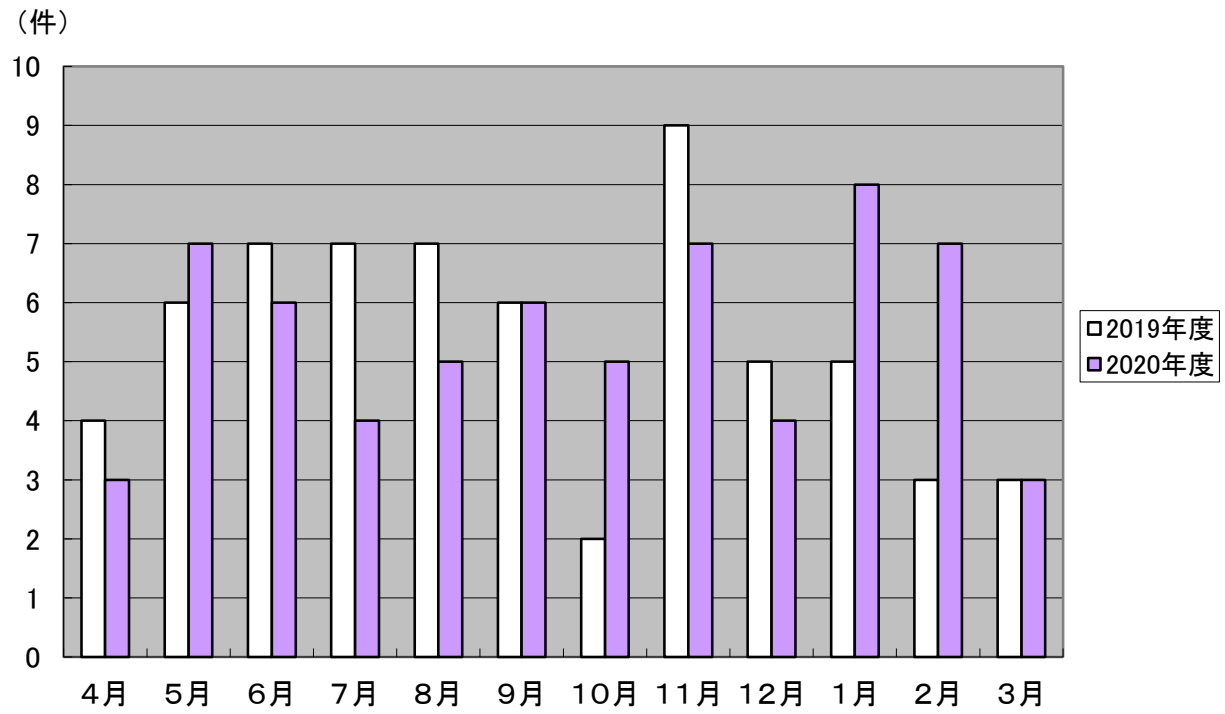
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	21	31	29	22	30	26	27	29	23	27	18	23	306
2020年度	28	25	24	13	15	18	23	25	32	30	30	29	292

② 退院患者数



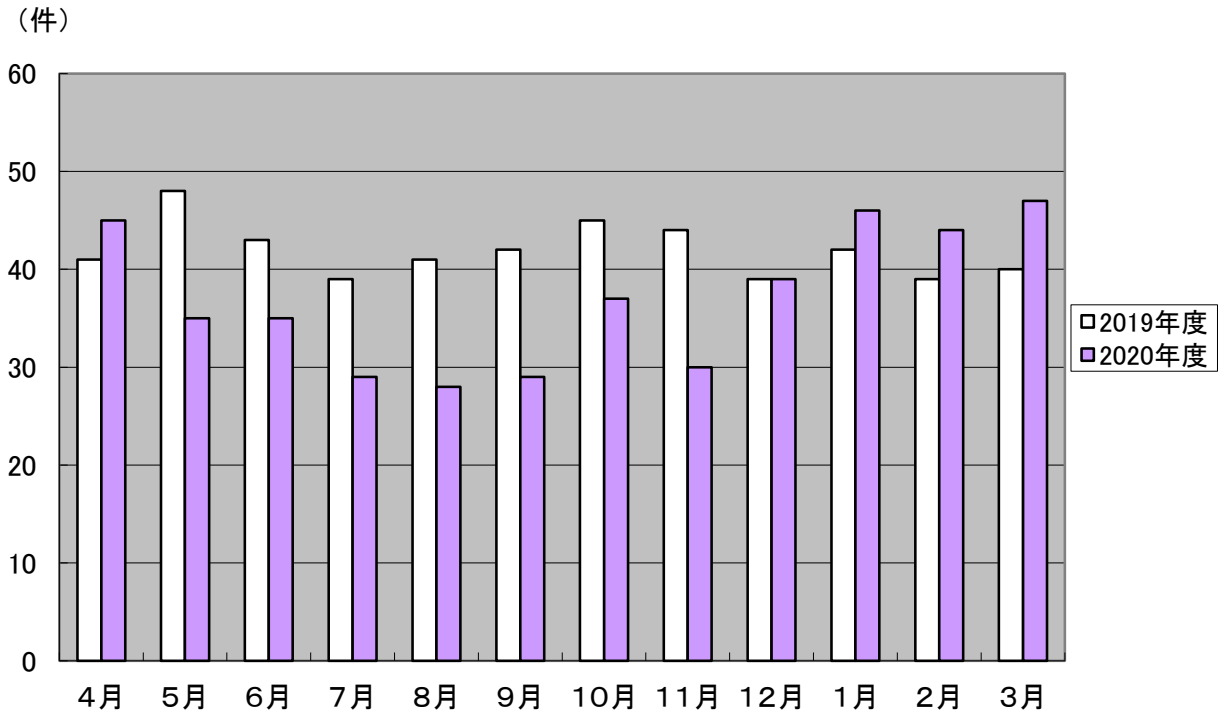
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	19	35	28	27	25	28	21	32	27	21	22	24	309
2020年度	30	28	21	14	15	18	29	23	27	31	31	30	297

③ 入院患者件数(一般)



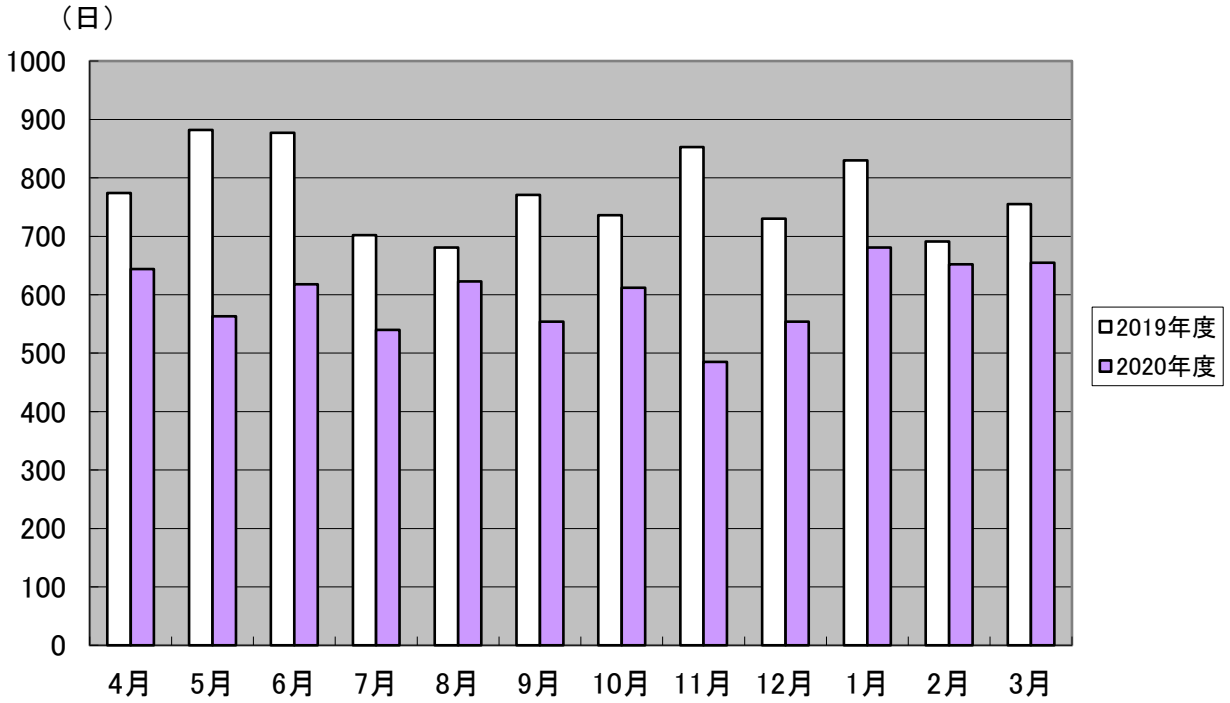
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	4	6	7	7	7	6	2	9	5	5	3	3	64
2020年度	3	7	6	4	5	6	5	7	4	8	7	3	65

④ 入院患者件数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	41	48	43	39	41	42	45	44	39	42	39	40	503
2020年度	45	35	35	29	28	29	37	30	39	46	44	47	444

⑤ 入院日数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2019年度	774	882	877	702	681	771	736	853	730	830	691	755	773.5
2020年度	644	563	618	540	623	554	612	485	554	681	652	655	598.4

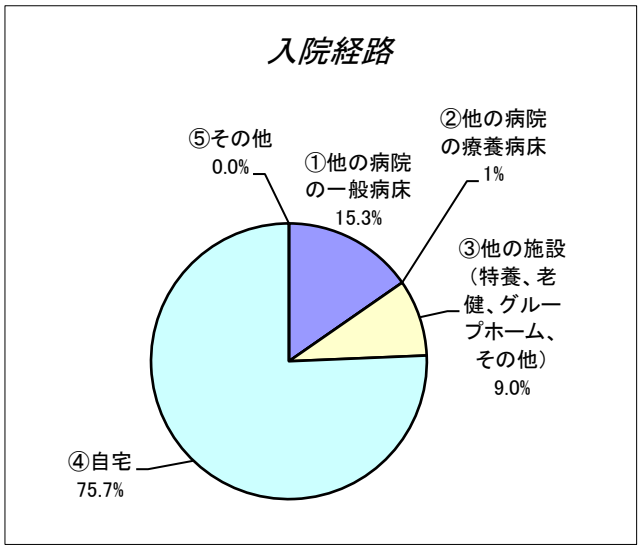
⑥ 入・退院患者経路

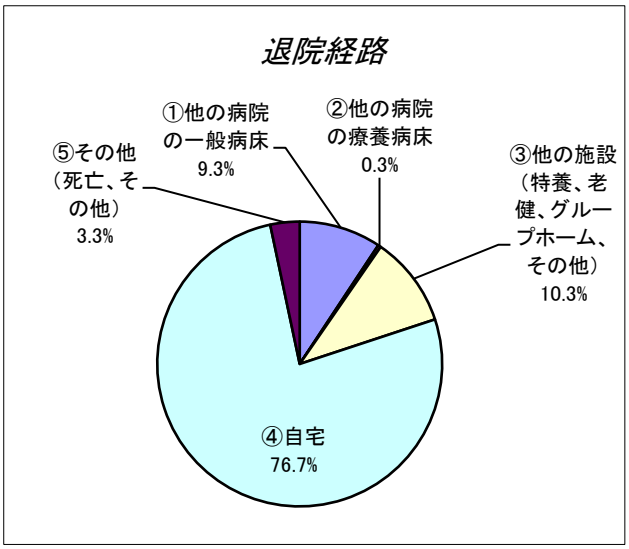
1. 入院経路（入院前の居場所）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	1	2	4	5	5	0	3	7	6	6	3	4	46
②他の病院の療養病床	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）	3	2	4	1	3	1	2	3	4	1	1	2	27
④自宅	24	21	16	7	7	17	18	15	22	31	26	23	227
⑤その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　　計	28	25	24	13	15	18	23	25	32	38	30	29	300

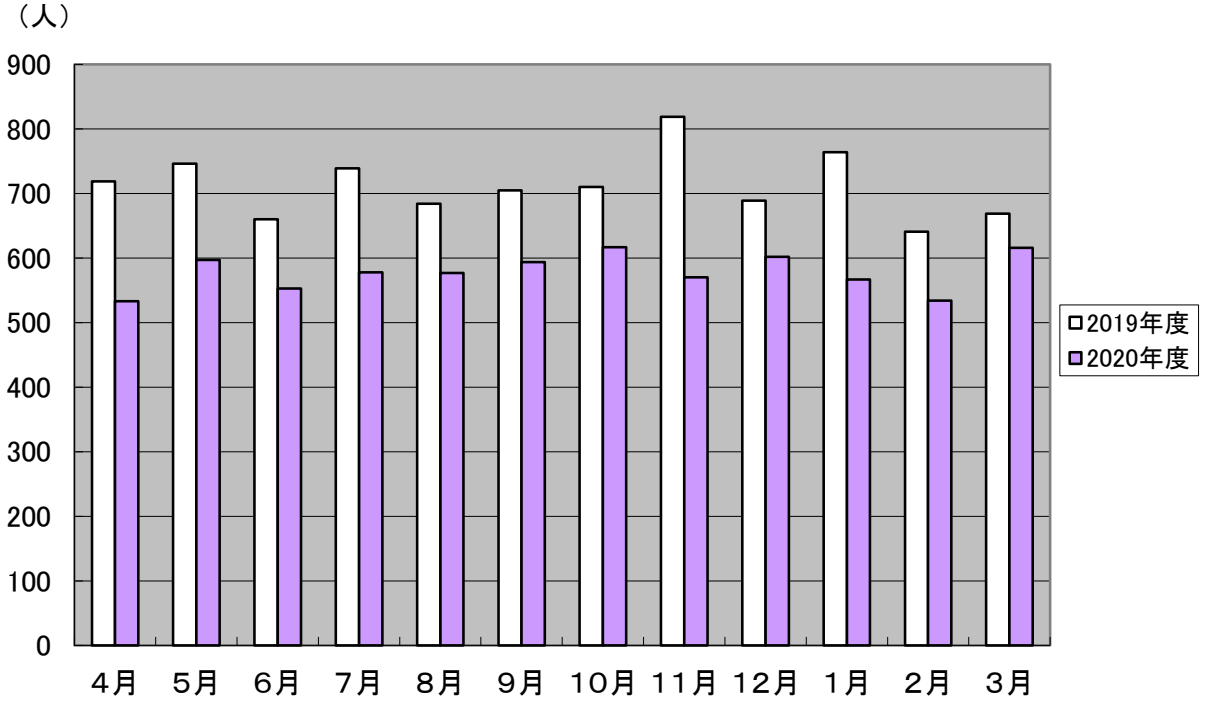
2. 退院経路（退院後の行き先）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①他の病院の一般病床	2	2	2	2	2	0	1	4	2	5	3	3	28
②他の病院の療養病床	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
③他の施設 （特養、老健、グループホーム、その他）	2	5	3	2	3	2	3	2	6	0	1	2	31
④自宅	26	19	15	9	9	16	22	16	19	30	26	24	231
⑤その他（死亡、その他）	0	2	0	1	1	0	3	1	0	1	1	0	10
合　　計	1	1	0	3	0	0	2	3	0	2	2	2	301



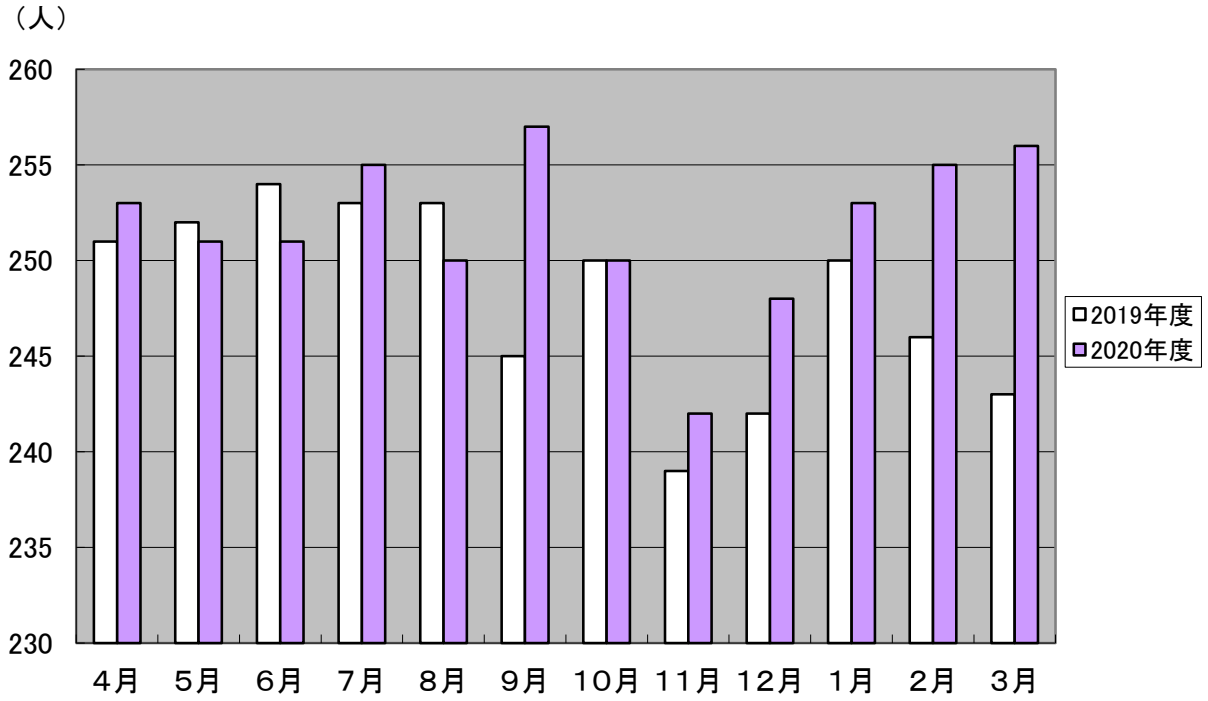


⑦ 外来患者数(一般)



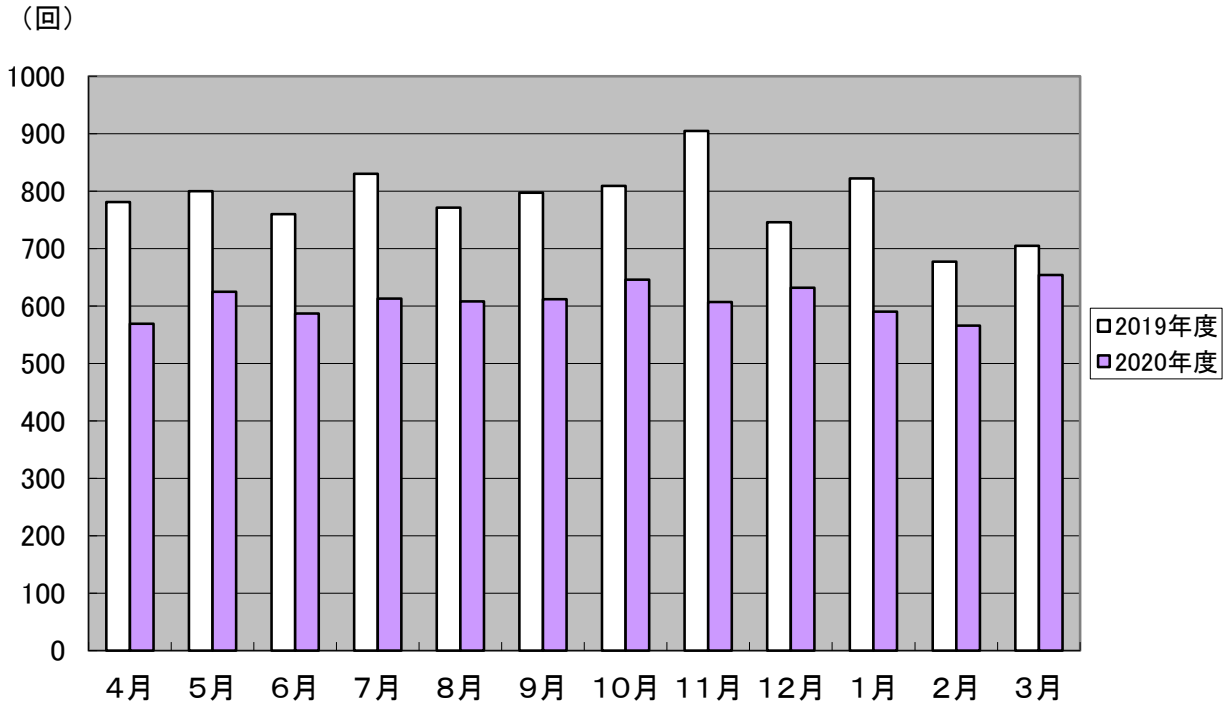
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	719	746	660	739	684	705	710	819	689	764	641	669	8,545
2020年度	533	597	553	578	577	594	617	570	602	567	534	616	6,938

⑧ 外来患者数(透析)



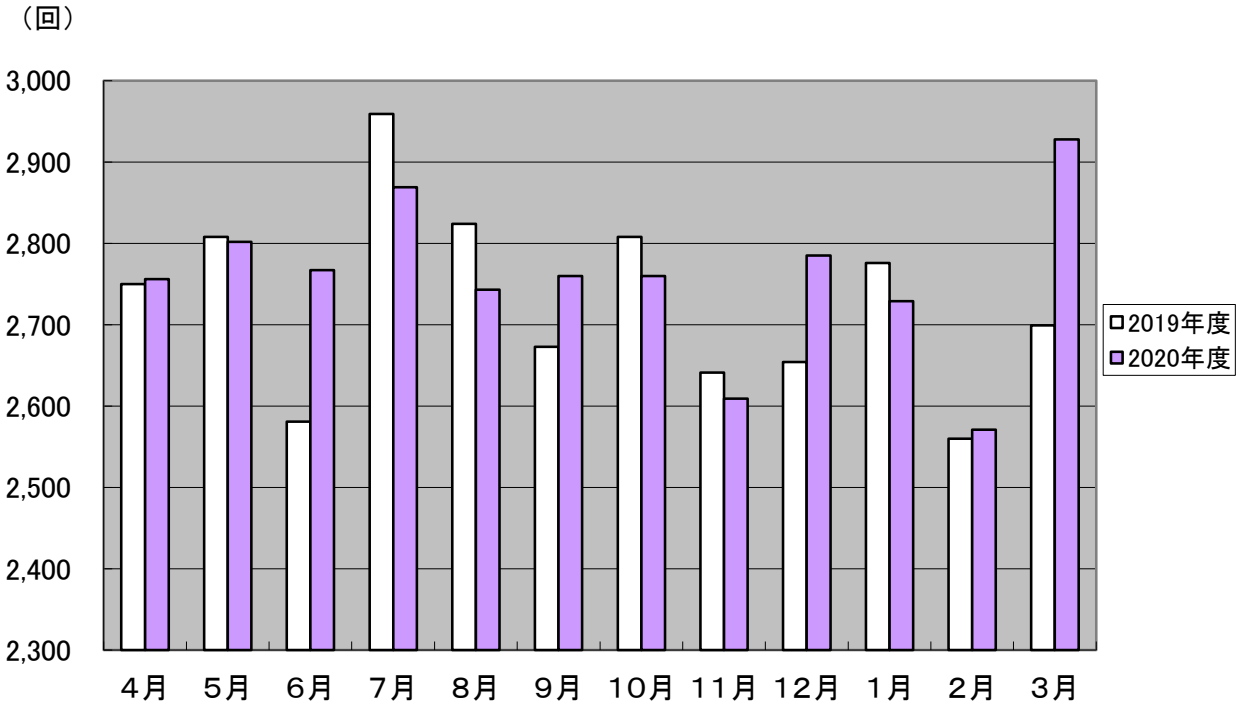
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	251	252	254	253	253	245	250	239	242	250	246	243	2,978
2020年度	253	251	251	255	250	257	250	242	248	253	255	256	3,021

⑨ 外来診療回数(一般)



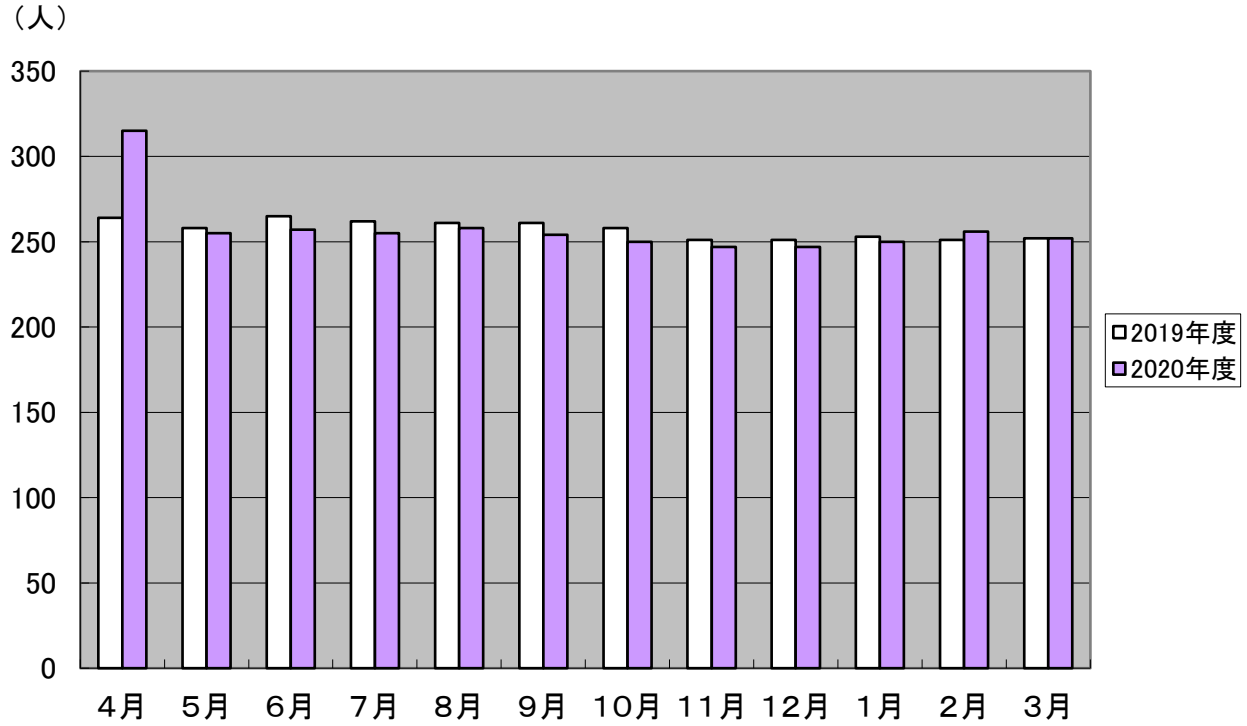
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	781	800	760	830	771	797	809	905	746	822	677	705	9,403
2020年度	569	625	587	613	608	612	646	607	632	590	566	654	7,309

⑩ 外来診療回数(透析)



透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	2,750	2,808	2,581	2,959	2,824	2,673	2,808	2,641	2,654	2,776	2,560	2,699	32,733
2020年度	2,756	2,802	2,767	2,869	2,743	2,760	2,760	2,609	2,785	2,729	2,571	2,928	33,079

⑪ 維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	264	258	265	262	261	261	258	251	251	253	251	252	3,087
2020年度	315	255	257	255	258	254	250	247	247	250	256	252	3,096

⑫ 禁煙外来

	2019年度	2020年度
新規受診者数	7	9
成功者数	3	3

※これまでの総数152名受診中52名成功

⑬ 健診件数

2020年度	特定健診		学童腎検	労災二次健診	職場健診	肝炎	前立腺
	国保	社保					
４月	3				9		
５月	3		1				
６月	9	1	3	1	1	1	1
７月	4						
８月	7						
９月	2	1				4	
１０月	5	4			7		
１１月	5			1	4	1	
１２月	7	1			3		
１月	9	1			3	1	
２月	9	1		1			
３月	11	1			2	1	
小計	74	10	4	3	29	8	1
合計	84						

⑭ 臨床検査データ

2020年度検体数

血液検査件数

検査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年合計
AST	534	427	498	431	417	446	578	451	453	490	460	501	5,686
ALT	534	427	497	431	417	446	578	451	453	491	460	501	5,686
ALP	441	332	420	334	330	347	453	334	335	338	338	344	4,346
GGT	471	360	432	362	342	360	489	362	375	394	387	429	4,763
LDH	446	340	412	343	346	350	467	341	348	357	345	359	4,454
TG	508	393	478	417	414	402	543	407	430	447	447	461	5,347
CRP	80	69	84	80	54	54	90	81	97	107	98	84	978
HDL-C	508	393	480	417	415	402	543	407	429	448	446	462	5,350
BUN	717	740	773	768	802	697	802	773	794	827	804	831	9,328
CRE	846	754	849	776	815	711	934	789	809	839	818	854	9,794
UA	706	724	763	758	779	666	792	751	784	821	796	824	9,164
Na	700	719	754	749	770	666	776	763	769	811	786	801	9,064
K	715	734	770	758	779	675	791	767	780	825	797	812	9,203
CL	700	719	754	749	770	667	776	763	769	811	786	801	9,065
Ca	736	734	773	764	796	674	804	761	800	822	813	818	9,295
IP	712	717	755	743	773	642	705	659	686	711	700	710	8,513
Fe	316	301	330	320	319	312	333	314	318	326	314	330	3,833
TP	516	413	520	438	462	444	571	436	445	471	468	476	5,660
ALB	438	444	489	483	498	486	507	469	481	520	495	511	5,821
A/G比	407	413	455	437	458	439	461	434	442	470	467	476	5,359
T-BiL	12	12	22	13	7	7	14	11	9	6	6	7	126
LDL-C	508	392	468	416	411	400	542	406	428	446	444	460	5,321
Glu	244	144	227	151	141	169	288	165	160	173	161	183	2,206
T-CHO	509	394	480	417	414	401	544	408	429	448	445	462	5,351
Zn	2	2	277	11	5	2	5	1	278	8	3	7	601
T-SAT	90	36	74	117	23	30	86	31	80	128	21	35	751
HbA1c	80	104	119	109	88	115	126	117	120	134	115	133	1,360
FER	227	38	128	227	46	107	234	51	109	227	48	116	1,558
補正Ca	349	376	381	381	387	354	368	365	349	391	365	386	4,452
nonHDL-C	508	393	480	417	414	401	543	407	429	447	445	462	5,346
GA	235	110	111	85	112	80	139	84	114	104	113	90	1,377
血液一般	905	801	904	843	851	829	1003	857	870	905	890	912	10,570
uCRE	113	128	167	162	193	170	200	175	185	219	201	242	2,155
CCR-24H	1	1	2		1	3		1	1	1	2	1	14
WBC分類	41	29	27	27	15	18	45	25	34	22	30	23	336
尿Na	97	105	127	142	164	143	177	153	174	199	185	225	1,891
食塩摂取量	97	105	127	142	164	143	177	153	174	199	184	225	1,890
尿一般	422	327	437	357	390	385	464	383	393	381	354	415	4,708
Mg	87	94	594	104	126	512	134	133	618	156	135	662	3,355
Cu	1		276	3			1		277	6	4	2	570
UIBC	90	36	74	117	23	30	86	32	80	128	21	35	752
尿蛋白	76	84	114	109	137	121	134	114	124	140	129	147	1,429
Cys-C	27	22	15	20	34	31	29	34	39	26	30	31	338

超音波検査件数
（2020/4～2021/3）

部　位	件　数
血　管	1,246
頸　部	306
腹　部	580
心　臓	457
合　計	2,589

⑮ 撮影データ

撮影件数（2020年度）

	ＣＴ	上　山　病　院				うえやま腎クリニック		合計
		透析胸部（外来）	透析胸部（入院）	一般撮影	アンギオ・PTA	透析胸部	一般撮影	
４月	42	219	13	180	22	60	16	552
５月	38	239	11	60	16	59	0	423
６月	35	235	7	163	22	63	0	525
７月	20	236	13	68	19	61	0	417
８月	49	233	13	74	20	64	0	453
９月	51	233	6	69	21	66	0	446
１０月	44	241	15	140	21	63	2	526
１１月	37	228	5	99	20	65	0	454
１２月	58	234	5	70	29	65	0	461
１月	51	235	12	126	27	64	0	515
２月	40	246	13	107	17	66	0	489
３月	42	202	14	108	30	0	0	396
合　計	507	2,781	127	1,264	264	696	18	5,657

CT撮影部位別件数（2020年度）

頭部CT	30
胸部CT	136
腹部CT	355
頸部CT	0
四肢CT	5
他CT	1
合　計	526

単純CT	507
造影CT	20

2020年度読影件数

月	件数	読影回数
4月	43	4
5月	44	5
6月	33	4
7月	14	3
8月	54	5
9月	42	4
10月	52	5
11月	35	4
12月	48	4
1月	47	4
2月	41	4
3月	36	4
合計	489	50

⑯ 上山病院　臨床工学科データ

2020年度　上山病院生菌検査結果一覧表

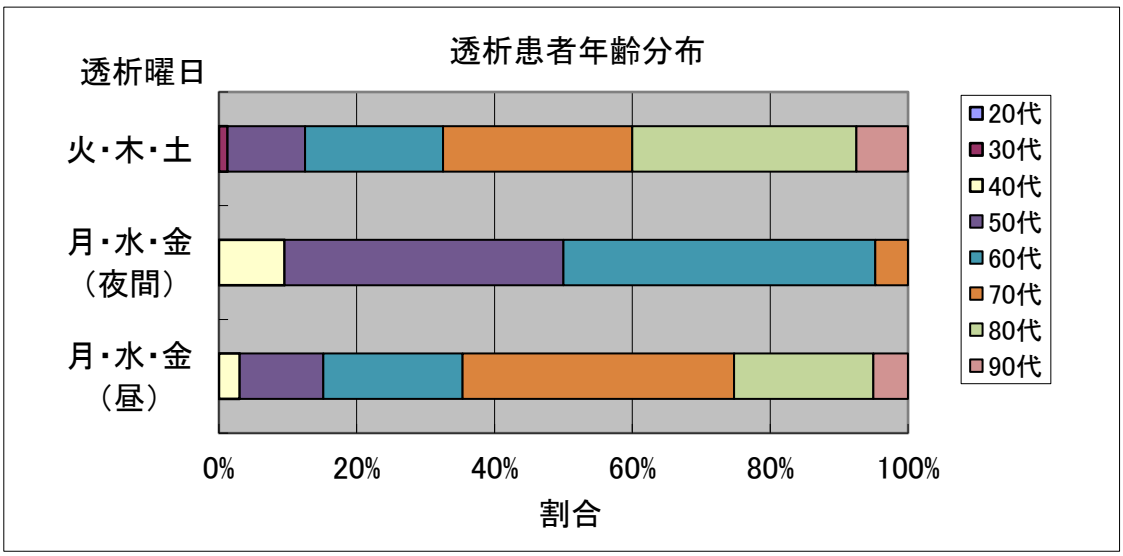
測定場所				測定日	検査結果	管理基準
項目		配管および装置名			（ CFU/mL ）	（CFU/mL）
2F処理水	RO膜		RO膜直後	4月14日	0.56	100 未満
	ROタンク		ROタンク・RO配管	4月14日	0.0	
2F供給装置後透析液1系統	モルセップ（1-①系統）		ET-5E	4月14日	0.0	1未満
	モルセップ（1-②系統）		ET-5E	4月14日	0.0	
2F供給装置後透析液2系統	モルセップ（2-①系統）		ET-5E	4月14日	0.0	
	モルセップ（2-②系統）		ET-5E	4月14日	0.0	
2F透析監視装置（カプラ後透析液）	A-01		DCS-100NX	4月8日	0.0	
	A-02		DCS-27	4月8日	0.0	
	A-03		DCS-27	5月13日	0.0	
	A-04		DCS-27	5月13日	0.0	
	A-05		DCS-27	7月21日	0.0	
	A-06		DCS-27	6月2日	0.0	
	A-07		DCS-27	7月7日	0.0	
	A-08		DCS-100NX	7月7日	0.0	
	A-09		DCS-100NX	8月4日	0.0	
	A-10		DCS-100NX	8月4日	0.0	
	A-11		DCS-100NX	9月1日	0.0	
	A-12		DCS-100NX	9月1日	0.0	
	B-13		DCS-100NX	10月5日	0.0	
	B-14		DCS-27	10月5日	0.0	
	B-15		DCS-27	11月10日	0.0	
	B-16		DCS-27	11月10日	0.0	
	B-17		DCS-200Si	10月15日	0.0	
	B-18		DCS-200Si	10月15日	0.0	
	B-19		DCS-100NX	1月5日	0.0	
	B-20		DCS-100NX	1月5日	0.0	
	B-21		DCS-100NX	2月2日	0.0	
	B-22		DCS-100NX	2月2日	0.0	
	B-23		DCS-100NX	3月2日	0.0	
	B-24		DCS-27	3月2日	0.0	
	C-25		DCS-27	4月8日	0.0	
	C-26		DCS-27	4月8日	0.0	
	C-27		DCS-27	5月13日	0.02	
	C-28		DCS-27	5月13日	0.02	
	C-29		DCS-100NX	6月2日	0.0	
	C-30		DCS-100NX	6月2日	0.0	
	C-31		DCS-100NX	7月7日	0.0	
	C-32		DCS-100NX	8月4日	0.0	
	C-33		DCS-100NX	9月1日	0.0	
	C-34		DCS-27	10月5日	0.0	
	D-35		TR-3300M	11月10日	0.0	
	D-36		TR-3300M	12月1日	0.0	
	D-37		TR-3300M	1月5日	0.0	
	D-38		TR-3300M	2月2日	0.0	
	D-39		TR-3300M	3月2日	0.0	
	D-40		TR-3300M	4月8日	0.0	
	D-41		TR-3300M	4月8日	0.0	
	D-42		TR-3300M	5月13日	0.0	
	D-43		DCS-100NX	5月13日	0.0	

2020年度　上山病院生菌検査結果一覧表

測定場所				測定日	検査結果	管理基準
項目	配管および装置名				(CFU/mL)	(CFU/mL)
２Ｆ透析監視装置（カプラ後透析液）	D-44		TR-3300M	6月2日	0.0	1未満
	E-45		TR-3300M	6月2日	0.0	
	E-46		TR-3300M	7月7日	0.0	
	E-47		TR-3300M	7月7日	0.0	
	E-48		DCS-100NX	8月4日	0.0	
	E-49		TR-3300M	8月4日	0.0	
	E-50		TR-3300M	9月1日	0.0	
	E-51		TR-3300M	9月1日	0.0	
	E-52		TR-3300M	10月5日	0.0	
	E-53		TR-3300M	10月5日	0.0	
	E-54		TR-3300M	11月10日	0.0	
	F-55		TR-3300M	11月10日	0.0	
	F-56		TR-3300M	12月1日	0.0	
	F-57		TR-3300M	1月5日	0.0	
	F-58		TR-3300M	2月2日	0.0	
	F-59		TR-3300M	3月2日	0.0	
	F-60		TR-3300M	4月8日	0.0	
	F-61		TR-3300M	4月8日	0.0	
	F-62		TR-3300M	5月13日	0.0	
	F-63		TR-3300M	5月13日	0.0	
	F-64		TR-3300M	6月2日	0.0	
	G-65		DCS-27	6月2日	0.0	
	G-66		DCS-27	7月7日	0.0	
	G-67		DCS-27	7月7日	0.0	
	G-68		DCS-27	8月4日	0.0	
	G-69		DCS-27	9月1日	0.0	
	G-70		DCS-27	10月8日	0.0	
	G-71		DCS-27	11月10日	0.0	
	G-72		DCS-200Si	10月15日	0.0	
	G-73		DCS-27	1月5日	0.0	
	G-74		DCS-27	2月2日	0.0	
	G-75		DCS-27	3月2日	0.0	
3F処理水	TW-R			4月30日	0.0	100未満
3F供給装置後透析液	TCR-RF		RF後	4月30日	0.0	1未満
３Ｆ透析監視装置（カプラ後透析液）	参-01		DCS-27	4月8日	0.0	
	参-02		DCS-27	4月8日	0.0	
	参-03		DCS-27	5月13日	0.0	
	参-04		DCS-27	5月13日	0.0	
	参-05		DCS-27	8月18日	0.0	
	参-06		DCS-27	6月2日	0.0	
	参-07		DCS-27	7月7日	0.0	
	参-08		TR-3300M	7月7日	0.0	
	参-09		TR-3300M	8月4日	0.0	
	参-10		DCS-27	8月4日	0.0	
	参-11		DCS-27	9月1日	0.0	
	参-12		DCS-27	9月1日	0.0	
	参-13		DCS-27	10月8日	0.0	
	参-14		DCS-27	11月10日	0.0	
	参-15		DCS-27	12月1日	0.0	
	参-16		DCS-27	1月5日	0.0	
	参-17		DCS-27	2月2日	0.1	
	予備機		DCS-27	3月2日	0.0	
	ICU	個人用透析装置	DBB-100NX	9月5日	0.0	
	ICU	個人用RO装置	MH500CX	9月5日	0.0	100未満
在宅用透析装置		個人用透析装置	DBB-100NX	11月6日	0.0	1未満

⑰ 透析患者年齢分布（2021年3月末現在） ※3階透析室も含む

	月・水・金（昼）	月・水・金（夜間）	火・木・土	合計
20代				0
30代			1	1
40代	3	4		7
50代	12	17	9	38
60代	20	19	16	55
70代	39	2	22	63
80代	20		26	46
90代	5		6	11
合計	99	42	80	221



⑱ 薬剤科　データ（2020 年度）

1．処方箋数・剤数

	院外処方箋	処方箋				注射箋	
		外来		入院		外来	入院
	枚数	枚数	剤数	枚数	剤数	枚数	枚数
4月	1,064	70	135	306	692	100	226
5月	1,091	78	134	229	405	98	138
6月	1,138	49	78	264	605	98	117
7月	1,067	52	79	201	449	92	158
8月	1,071	52	77	230	502	110	65
9月	1,127	52	81	314	600	107	118
10月	1,200	55	90	415	804	696	284
11月	1,157	54	75	303	531	341	78
12月	1,108	58	100	316	562	258	143
1月	1,202	68	108	337	689	115	147
2月	1,166	52	81	298	674	101	190
3月	1,427	56	94	303	615	101	100
計	13,818	696	1,132	3,516	7,128	2,217	1,764
平均	1,152	58	94	293	594	185	147

2．薬剤管理指導件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	16	26	27	12	17	14	29	38	28	27	27	20	281

3．院外処方箋疑義照会件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	52	57	63	39	44	40	41	48	58	53	48	43	586

4．持参薬鑑別件数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
入院	25	20	25	11	19	15	20	24	23	39	26	27	274

⑲ 給食状況　（2020 年度）

ア　患者給食数　（単位：食、%）

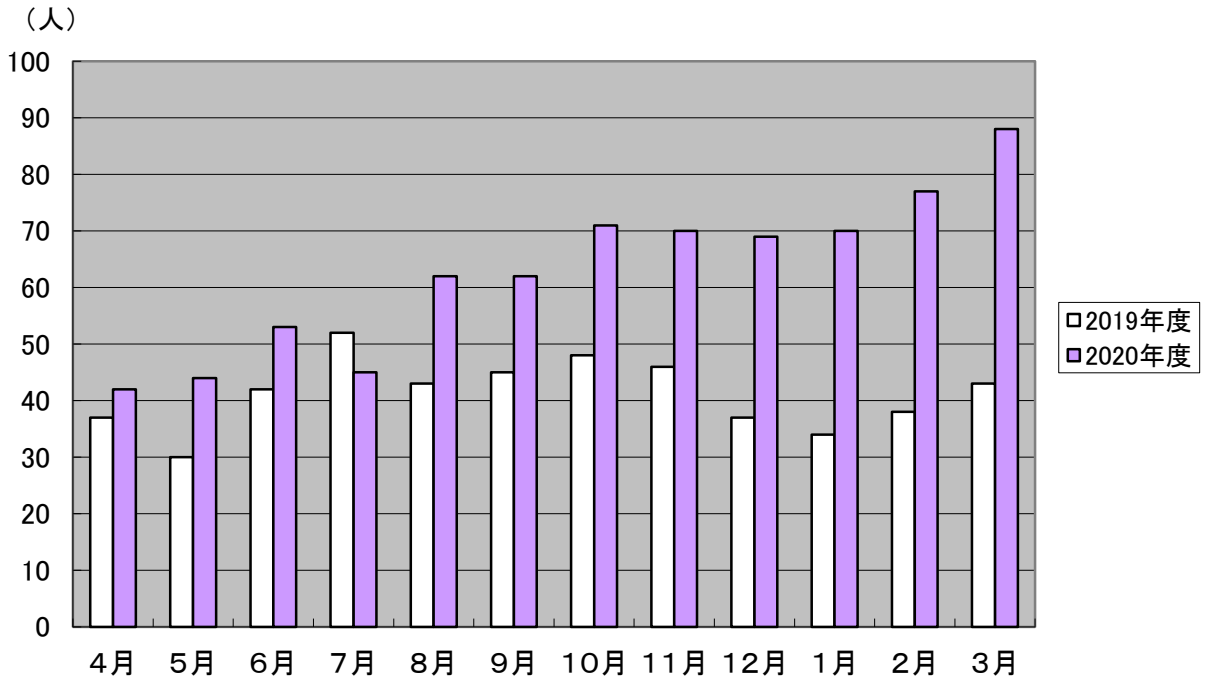
食種＼項目		延給食数	一日平均給食数	食種別構成比	延給食数対前年度比
一般食	常食	3,042	8.3	15.0	157.0
	流動食	0	0	0	0
特別食	腎臓病	16,361	44.8	80.8	73.2
	心臓病	397	1.1	2.0	110.9
	糖尿病	92	0.3	0.5	13
	経管栄養	361	1.0	1.8	46.8
合計		20,253	55.5	100	77.6

イ　個人栄養指導件数　（単位：件、%）

区分＼項目	件数	対前年度比
外来患者	96	83.5
入院患者	68	95.8
合計	164	88.2

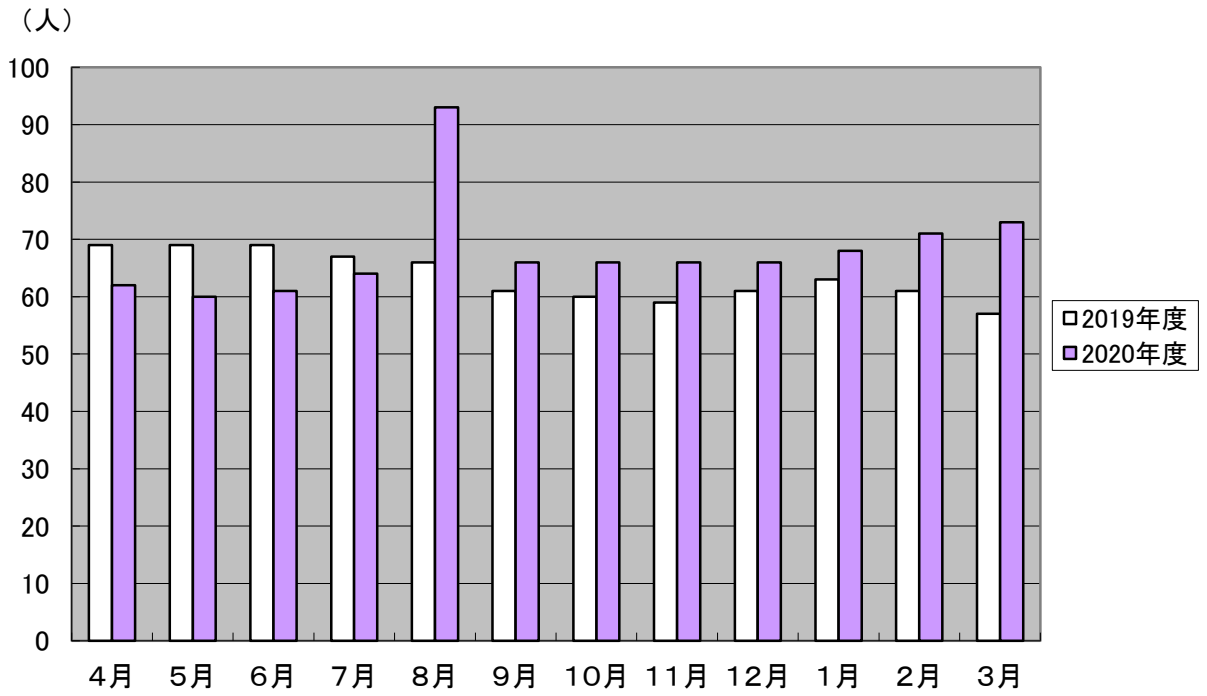
(2)患者データ【うえやま腎クリニック】

① 外来患者数(一般)



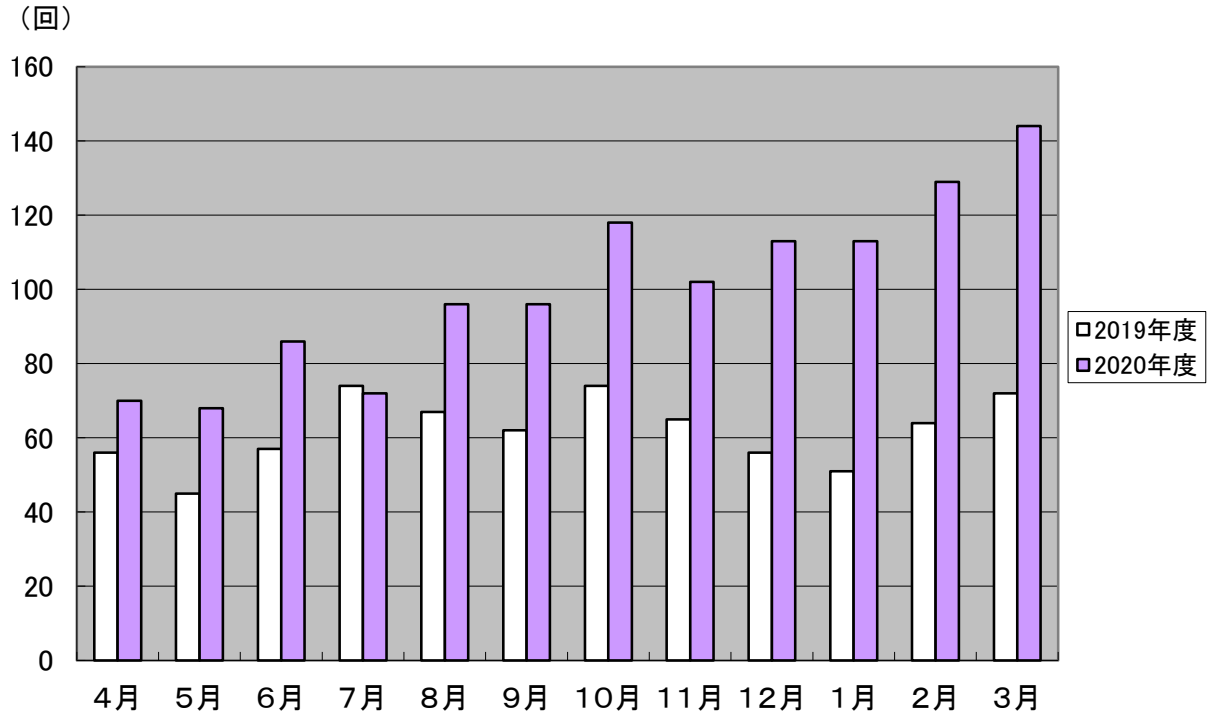
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	37	30	42	52	43	45	48	46	37	34	38	43	495
2020年度	42	44	53	45	62	62	71	70	69	70	77	88	753

② 外来患者数(透析)



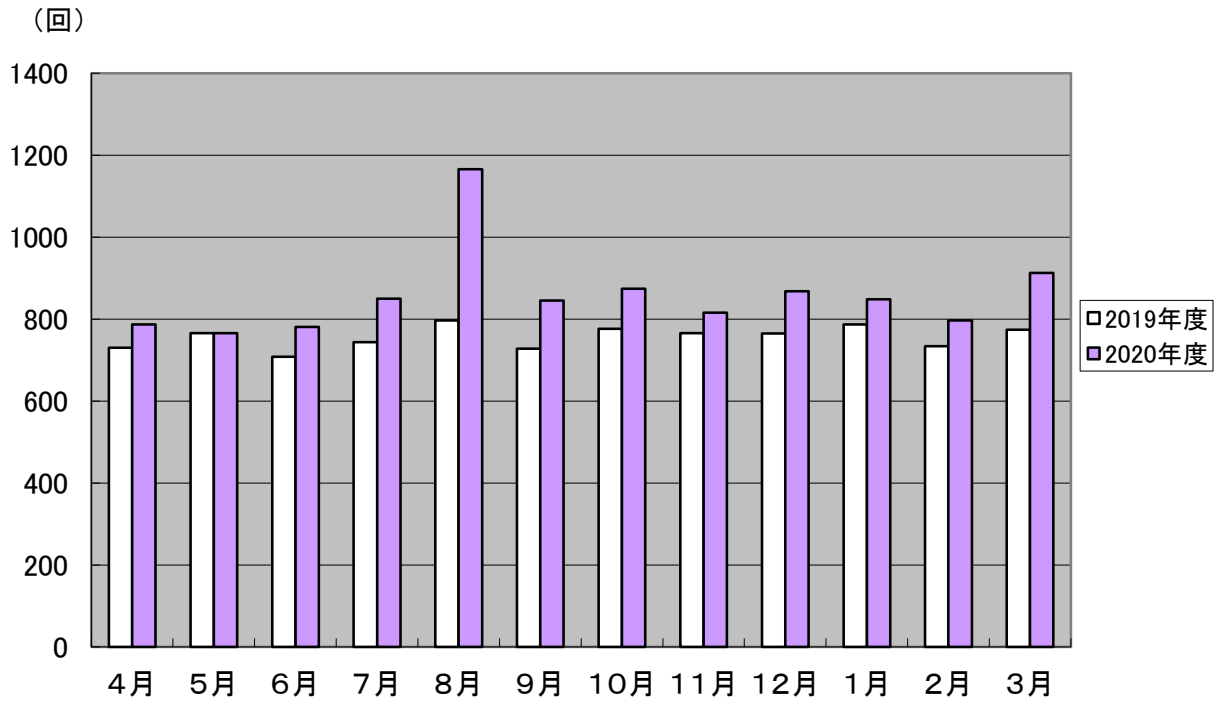
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	69	69	69	67	66	61	60	59	61	63	61	57	762
2020年度	62	60	61	64	93	66	66	66	66	68	71	73	816

③ 外来診療回数(一般)



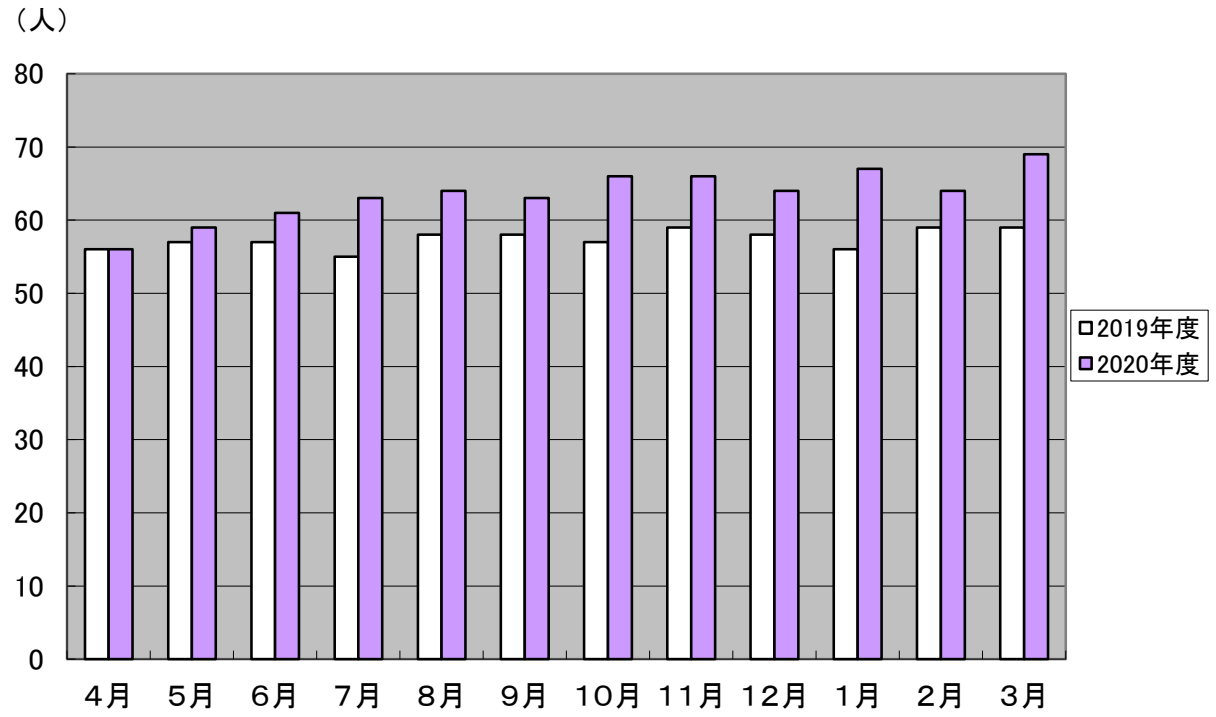
一般	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	56	45	57	74	67	62	74	65	56	51	64	72	743
2020年度	70	68	86	72	96	96	118	102	113	113	129	144	1,207

④ 外来診療回数(透析)



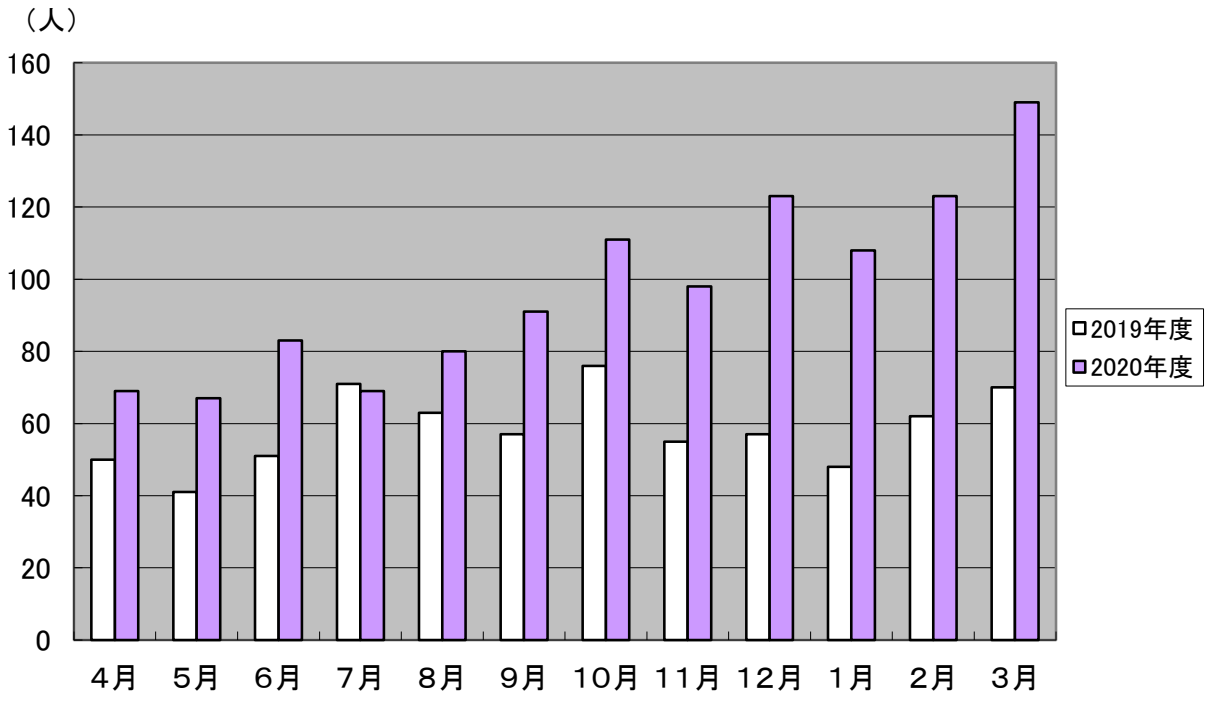
透析	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	730	766	708	744	797	728	776	766	765	787	734	774	9,075
2020年度	787	766	781	850	1166	845	874	816	868	848	797	913	10,311

⑤ 維持透析患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	56	57	57	55	58	58	57	59	58	56	59	59	689
2020年度	56	59	61	63	64	63	66	66	64	67	64	69	762

⑥ 外来患者数（形成）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	50	41	51	71	63	57	76	55	57	48	62	70	701
2020年度	69	67	83	69	80	91	111	98	123	108	123	149	1171

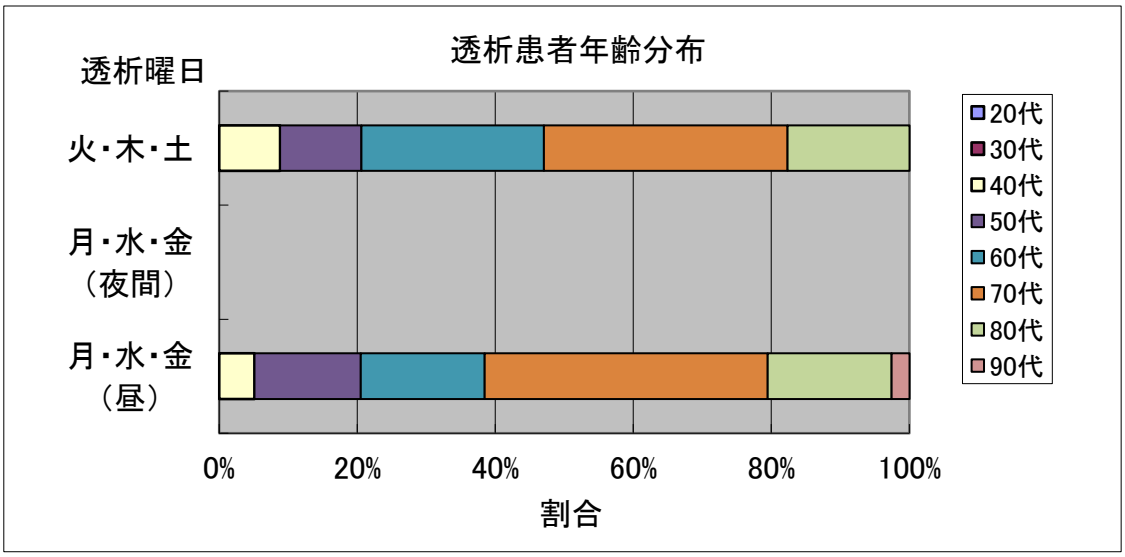
⑦ うえやま腎クリニック　臨床工学科データ

2020年度　うえやま腎クリニック生菌検査結果一覧表

測定場所				測定日	検査結果 (CFU/mL)	管理基準 (CFU/mL)
項目	配管および装置名					
機械室内処理水	原水			4月6日	0.9	—
	軟水			4月6日	0.68	
	処理水		RO膜直後	4月13日	0.08	100 未満
	UF（ROタンク・配管）		ROタンク・RO配管	4月13日	0.1	
機械室内透析液	モルセップ（A）		ET-5E	5月18日	0.0	1未満
	モルセップ（B）		ET-5E	6月8日	0.0	
透析監視装置（カプラ後透析液）	A-01		DCS-100NX	6月8日	0.0	
	A-02		DCS-100NX	6月22日	0.0	
	A-03		DCS-100NX	6月22日	0.0	
	A-04		DCS-100NX	7月6日	0.0	
	A-05		DCS-27	7月6日	0.0	
	A-06		DCS-27	7月20日	0.0	
	A-07		DCS-100NX	7月20日	0.0	
	A-08		DCS-100NX	7月20日	0.0	
	A-09		DCS-100NX	8月3日	0.0	
	A-10		DCS-27	8月3日	0.0	
	A-11		DCS-27	8月17日	0.0	
	A-12		DCS-100NX	8月17日	0.0	
	A-13		DCS-100NX	8月17日	0.0	
	A-14		DCS-27	9月7日	0.0	
	A-15		DCS-100NX	9月7日	0.0	
	A-16		DCS-100NX	9月14日	0.0	
	A-17		DCS-100NX	9月14日	0.0	
	A-18		DCS-100NX	9月14日	0.0	
	A-19		DCS-100NX	10月5日	0.0	
	A-20		DCS-100NX	10月5日	0.0	
	B-21		DCS-27	10月19日	0.0	
	B-22		DCS-100NX	10月19日	0.0	
	B-23		DCS-100NX	10月19日	0.0	
	B-24		DCS-27	11月9日	0.0	
	B-25		DCS-100NX	11月9日	0.0	
	B-26		DCS-27	11月16日	0.0	
	B-27		DCS-27	11月16日	0.0	
	B-28		DCS-27	11月16日	0.0	
	B-29		DCS-27	12月7日	0.0	
	B-30		DCS-100NX	12月7日	0.0	
	B-31		DCS-27	12月21日	0.0	
	B-32		DCS-27	12月21日	0.0	
	B-33		DCS-100NX	12月21日	0.0	

⑧ 透析患者年齢分布（2021年3月末現在）

	月・水・金（昼）	月・水・金（夜間）	火・木・土	合計
20代				0
30代				0
40代	2		3	5
50代	6		4	10
60代	7		9	16
70代	16		12	28
80代	7		6	13
90代	1			1
合計	39		34	73



(3)腎愛会2020年度　アンケート集計表

全体 301

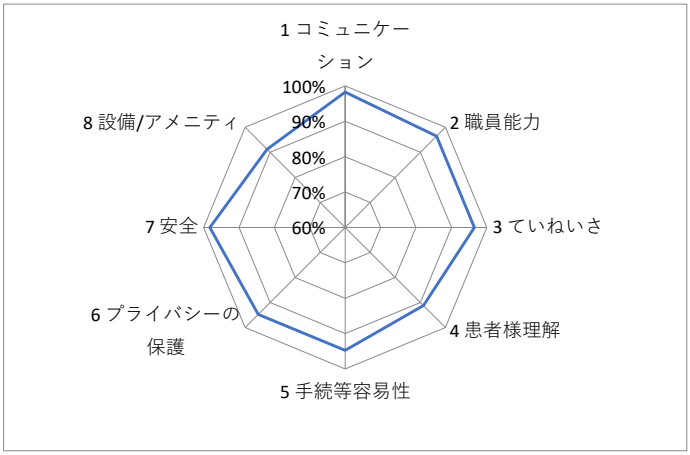
・入院患者様　退院時アンケート結果

回答者数＝ 57　　対象者数＝ 291　　S= 10

領域	No.	質問項目	選択肢		回答率	
1	コミュニケーション	当院職員は、わかりやすい言葉で説明しましたか	1. はい	56	98.2%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	1	1.8%	
			無回答	0	0.0%	
2	職員能力	当院職員は、必要な技術と知識を身につけていますか	1. はい	55	96.5%	100.0%
			2. いいえ	2	3.5%	
			3. わからない	0	0.0%	
			無回答	0	0.0%	
3	ていねいさ	当院職員は、ていねいな対応をしていましたか	1. はい	55	96.5%	100.0%
			2. いいえ	1	1.8%	
			3. わからない	1	1.8%	
			無回答	0	0.0%	
4	患者様理解	当院職員は、患者の気持ちを理解しようとしましたか	1. はい	52	91.2%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	5	8.8%	
			無回答	0	0.0%	
5	手続等容易性	入院時のさまざまな手続きはうまくいきましたか	1. はい	54	94.7%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	1	1.8%	
			無回答	2	3.5%	
6	プライバシーの保護	入院中のプライバシーの保護は適切でしたか	1. はい	54	94.7%	100.0%
			2. いいえ	1	1.8%	
			3. わからない	1	1.8%	
			無回答	1	1.8%	
7	安全	入院中は安全に医療サービスが行われていると感じましたか	1. はい	56	98.2%	100.0%
			2. いいえ	0	0.0%	
			3. わからない	1	1.8%	
			無回答	0	0.0%	
8	設備／アメニティ	入院中の環境は快適でしたか	1. はい	52	91.2%	100.0%
			2. いいえ	1	1.8%	
			3. わからない	3	5.3%	
			無回答	1	1.8%	

回答率＝ 19.6%

	項目	「①はい」の人数
1	コミュニケーション	98.2%
2	職員能力	96.5%
3	ていねいさ	96.5%
4	患者様理解	91.2%
5	手続等容易性	94.7%
6	プライバシーの保護	94.7%
7	安全	98.2%
8	設備/アメニティ	91.2%



・上山病院　透析患者様アンケート結果

配布枚数　198 枚　回収枚数　113 枚　回答率　57.1%

1.当院による治療の説明は十分ですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
32	62	18	1	0	0	113

2.穿刺や処置、透析機器の操作など、職員の技術はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
28	67	15	1	0	2	113

3.透析室スタッフの対応（言葉遣い、態度）はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
44	56	11	1	0	1	113

4.患者様の相談事、心配事に耳を傾けていますか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
30	56	25	0	2	0	113

5.来院されてから透析開始までの待ち時間はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
14	54	24	14	5	2	113

6.当院職員のプライバシーに対する配慮はいかがでしか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
20	70	20	0	2	1	113

7.当院の透析治療に対する安全性はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
35	61	15	2	0	0	113

8.院内の雰囲気・清潔感はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
39	58	15	1	0	0	113

・うえやま腎クリニック　透析患者様アンケート結果

配布枚数　64 枚　回収枚数　41 枚　回答率　64.1%

1.当院による治療の説明は十分ですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
10	26	4	1	0	0	41

2.穿刺や処置、透析機器の操作など、職員の技術はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
7	26	7	1	0	0	41

3.透析室スタッフの対応（言葉遣い、態度）はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
11	27	3	0	0	0	41

4.患者様の相談事、心配事に耳を傾けていますか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
7	25	8	0	0	1	41

5.来院されてから透析開始までの待ち時間はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
8	17	12	3	0	1	41

6.当院職員のプライバシーに対する配慮はいかがでしか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
7	26	8				41

7.当院の透析治療に対する安全性はいかがですか？

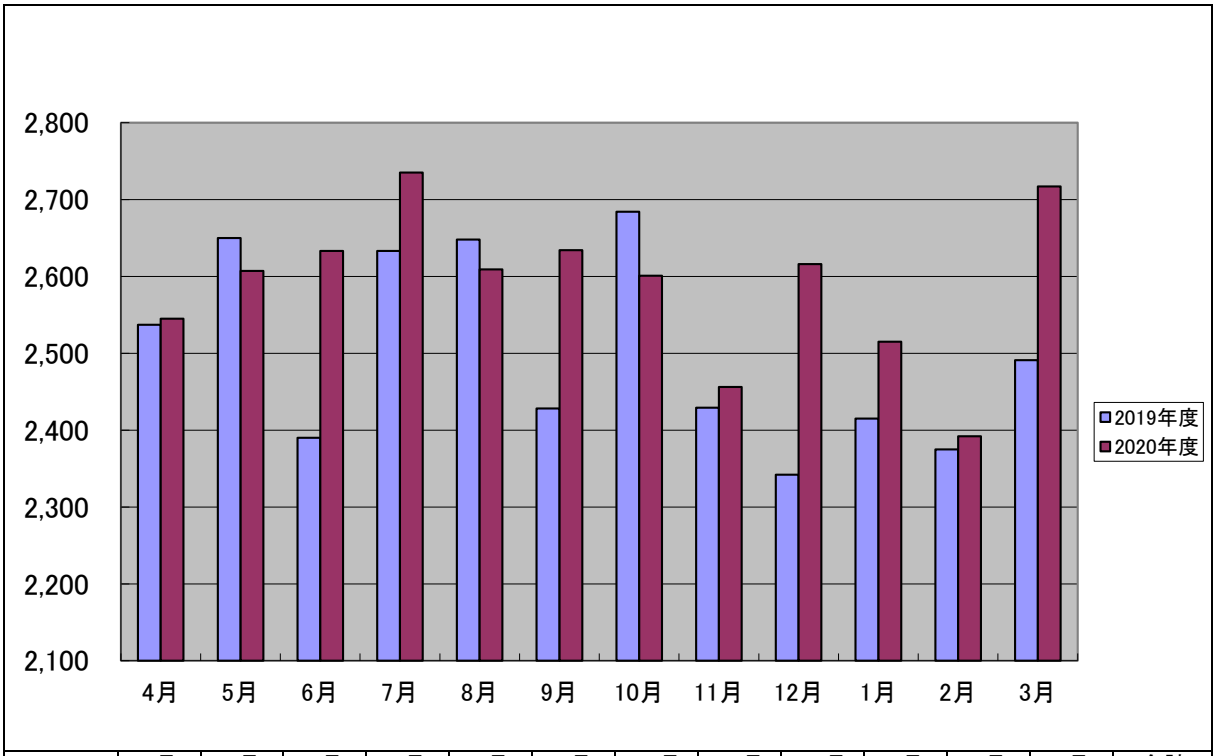
大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
9	29	2	0	0	1	41

8.院内の雰囲気・清潔感はいかがですか？

大変満足	満足	どちらでもない	不満	大変不満	未回答	計
8	29	3	0	0	1	41

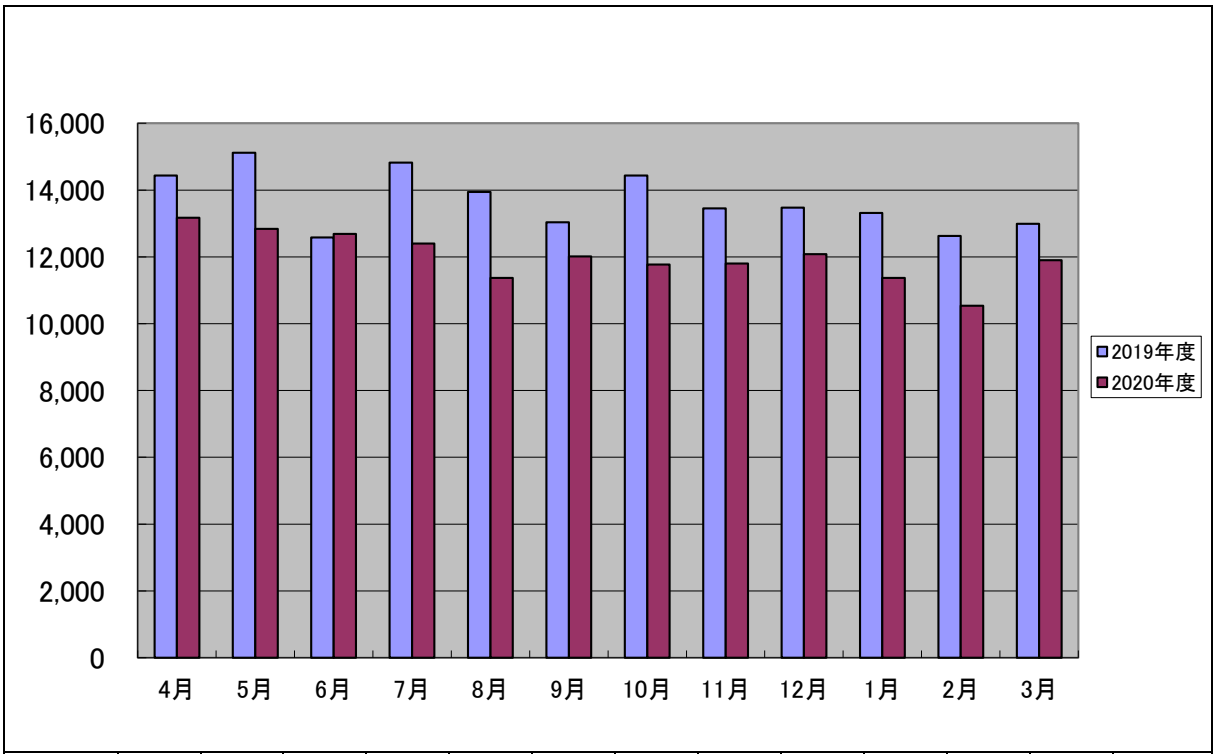
(4)送迎データ

①送迎患者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	2,537	2,650	2,390	2,633	2,648	2,428	2,684	2,429	2,342	2,415	2,375	2,491	30,022
2020年度	2,545	2,607	2,633	2,735	2,609	2,634	2,601	2,456	2,616	2,515	2,392	2,717	31,060

②送迎走行距離



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2019年度	14,432	15,118	12,582	14,818	13,942	13,037	14,432	13,452	13,476	13,316	12,629	12,993	164,227
2020年度	13,172	12,842	12,688	12,402	11,369	12,015	11,773	11,802	12,078	11,371	10,537	11,898	143,947

(5)職員データ

①職員数(2021年3月31日現在)

項目			HP	CL	光陽	本部	USK	計
所属法人	1	腎愛会	127	22	12	4		165
	2	㈱ユーエスケイ企画	8			4	8	20
		計	135	22	12	8	8	185
勤務状況	1	常勤	81	7	7	5	7	107
	2	日勤	15	5	1			21
	3	短時間勤務	2	1	0	2		5
	4	契約職員	1		1			2
	5	嘱託職員	6	3				9
	6	非常勤	20	4	2		1	27
	8	休職	10	2	1	1		14
		計	135	22	12	8	8	185
性別	1	女性	98	19	7	6	6	136
	2	男性	37	3	5	2	2	49
		計	135	22	12	8	8	185
資格・職種	1	医師	13	2				15
	2	薬剤師	3					3
	3	診療放射線技師	2					2
	4	臨床検査技師	3					3
	5	臨床工学技士	9	2				11
	6	管理栄養士	2					2
	7	看護師	51	11	1			63
	8	准看護師	1					1
	9	理学療法士	2					2
	10	作業療法士						0
	11	社会福祉士	2		1			3
	12	介護福祉士			5			5
	13	ケアスタッフ	18	2	2			22
	14	介護支援専門員			2			2
	15	技士助手	1					1
	16	医療事務	7	2				9
	17	診療情報管理士	1					1
	18	医師事務作業補助者	1					1
	19	クラーク	3					3
	20	運転手	5					5
	21	清掃員	7					7
	22	施設管理	1		1			2
	23	エステティシャン		2				2
	24	事務	3	1		8	1	13
	25	営業管理・営業					5	5
	26	企画					2	2
	計		135	22	12	8	8	185

②就業状況

	平均		男性		女性	
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
勤続年数	8.0	8.8	9.2	9.6	7.6	8.5
平均年齢	43.1	43.2	47.3	47.1	41.7	41.9

退職率	平均		職員数		退職者数	
	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度	2019年度	2020年度
全 体	8.1%	18.2%	173	165	14	30
男 性	0.0%	15.9%	47	44	0	7
女 性	11.1%	19.0%	126	121	14	23

復職率	2019年度	2020年度
	0.00%	0.00%

※パートへの復職を含む（育休・介休などの休職後の復帰を含まず。）

有給取得率	2019年度	2020年度
	77.7%	57.6%

※（2020年4月から2021年3月までの総取得日数）÷（2021年3月現在で直近に付与された日数の総計）

年報

医療法人 腎愛会
2020（令和２）年度

発　行　月	2021年12月
発　行　者	医療法人腎愛会 グループ本部
印刷・製本	株式会社 ユーエスケイ企画